

第三次柏市男女共同参画推進計画（前期）報告書

－ 平成 2 8 年度 実績報告 －

柏 市

多様な生き方を認めあい 個性を生かせるまち柏

基本目標

基本課題

施策の方向性

I. 男女が活躍できる環境づくり

1. 女性の活躍促進

政策・方針決定の場へ男女が平等に参画する

重点課題

(1) 市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

(2) 防災・地域活動 雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進

2. 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進

男女の働き方を見直し、仕事と生活の調和を目指す

(3) 男女が共に担う家庭・地域づくり

(4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり

II. 互いを尊重しあう意識づくり

3. 男女共同参画を目指す教育・学習の推進

男女平等意識を高める

(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

(6) 男女平等教育の推進

4. 人権に対する配慮

人権と性差を尊重する

(7) 人権の尊重

(8) 性差に配慮した健康支援

(9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶

柏市DV対策基本計画

推進

推進体制

男女共同参画推進体制の充実

(1) 計画の推進体制の強化

(2) 男女共同参画センターの運営

(3) 計画の効果的な進行管理

庁内の男女共同参画の推進

(4) 男女共同参画推進庁内連絡会議の充実

(5) 市職員の意識の向上

目 次

◆数値目標・実績【基本課題】	4
◆平成28年度男女共同参画推進状況【クローズアップ施策】	6
◆データ資料	8
◆具体的な施策の実施状況【全施策】	
(1) 政策・方針決定の場への女性の登用促進（施策番号1～8） ..	10
(2) 防災・地域活動、雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進 ..	14
(3) 男女が共に担う家庭・地域づくり（施策番号20～24）	19
(4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり	21
(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し	34
(6) 男女平等教育の推進（施策番号57～72）	37
(7) 人権の尊重（施策番号73～82）	43
(8) 性差に配慮した健康支援（施策番号83～91）	48
(9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶（施策番号92～107）	53
◎ 男女共同参画推進体制の充実（施策番号108～120）	61

数値目標・実績【基本課題】

基本目標	基本課題	施策の方向性	施策	指標				
				項目	平成27年4月 計画策定時	平成28年4月	平成32年4月 計画目標	目標との差
Ⅰ 男女が活躍できる環境づくり	1. 女性の活躍促進 政策・方針決定の場へ 男女が平等に参画する 重点課題	(1)市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進	1 政策・方針決定の場への女性の登用促進	市の女性管理職の割合（一般行政職）	3.6%	6.8%	15.0%	8.2%
			2 女性のエンパワメントに向けての環境整備	附属機関で女性委員が35%以上の割合	53.0%	57.0%	65.0%	8.0%
		(2)防災・地域活動、雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進	1 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画	防災推進員における女性の割合	8.9%	8.7%	25.0%	16.3%
			2 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し 3 雇用における女性の参画促進 4 農業における男女のパートナーシップの確立と起業家への支援 5 地域活動における女性の参画促進	町会長・自治会長・区長等における女性の割合	7.0%	7.0%	15.0%	8.0%
	2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 男女の働き方を見直し、仕事と生活の調和を目指す	(3)男女が共に担う家庭・地域づくり	1 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進	市職員の子供休暇の平均取得日数	1.3日／年 （平成25年度）	2.7日／年 （平成28年度）	3.0日／年 （平成31年度）	0.3日／年
				ママパパ学級（両親学級）参加者数	1,043人	938人	1,200人	262人
		(4)男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり	1 仕事と生活を両立できる環境づくり 2 仕事と生活を両立できる意識づくり	認可保育園等の国基準の待機児童数（人）	0人	0人	0人	目標値達成
				特別養護老人ホーム整備床数	1,414床	1,465床	1,834床 （平成32年度）	369床
Ⅱ 互いを尊重しあう意識づくり	3. 男女共同参画を目指す教育・学習の推進 男女平等意識を高める	(5)男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し	1 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実 2 社会制度・慣行の見直し	啓発事業への若い世代（20歳～40歳代）の参加割合	28.0%	46.0%	50.0%	4.0% 
				進路や職業を選択する際、性別を意識せずに選択した人の割合	62% ※平成26年度市民意識調査結果より	—	75.0%	※平成31年度に市民意識調査を実施予定
		(6)男女平等教育の推進	1 家庭教育における男女平等意識の啓発 2 保育園・幼稚園における男女平等教育の推進 3 学校における男女平等教育の推進 4 社会における男女平等に関する生涯学習の推進	男女共同参画に関する企画展示	—	3回／年	3回／年	目標値達成 
	4. 人権に対する配慮 人権と性差を尊重する	(7)人権の尊重	1 心の健康支援の充実 2 人権に関する啓発とメディアにおける人権への配慮	精神保健福祉に関する出前講座等の受講者数	372人	232人	500人	268人
		(8)性差に配慮した健康支援	1 性差に配慮した健康支援 2 性と生殖の健康・権利に関する啓発	性の商品化を人権侵害と考える人の割合	55.6% ※平成26年度市民意識調査結果より	—	70.0%	※平成31年度に市民意識調査を実施予定
推進体制	男女共同参画推進体制の充実	(1)計画の推進体制の強化 (2)男女共同参画センターの運営 (3)計画の効果的な進行管理	①計画の推進体制の強化 ②男女共同参画センターの運営 ③計画の効果的な進行管理	男女共同参画推進庁内連絡会議研修会の数	1回／年	2回／年	2回／年	目標値達成 
	庁内の男女共同参画の推進	(4)男女共同参画推進庁内連絡会議の充実 (5)市職員の意識の向上	①男女共同参画推進庁内連絡会議の充実 ②市職員の意識の向上 ③性別にとらわれない職員の採用・配置 ④関係機関との連携 ⑤男女共同参画条例に関する情報収集	男女共同参画センター企画の講座の受講者	—	124人／年	700人／年	576人／年
				男女共同参画センターの認知度	—	—	30%	※平成31年度に市民意識調査を実施予定

具体的な 施策番号	総評
1～19	◆ 平成28年度推進状況 全体的に数値の増加がみられる。特に市の女性管理職の割合が飛躍的に増加している。背景としては全所属長を対象に女性活躍推進法に関する研修の実施により所属長の意識改革を図るほか、女性職員が管理職を意識できるような人事配置などを実施した結果である。一方で、割合が減少した防災推進員における女性の割合については、防災推進員等を担っている女性の数が平成27年の36名から平成28年41名と5名増加しているものの、全体で6組織が増加し、総人数が増加したことによるものである。 ◆ 成果や課題 初年度の実績で各課の女性の活躍推進に向けた施策や働きかけの成果が表れている。目標達成に向けて、継続的な働きかけが必要であると考える。 市内関係課への働きかけは比較的效果が出やすい傾向であるとする。事業所、市民に向けた一層の働きかけや啓発が必要である。
20～48	◆ 平成28年度推進状況 ママパパ両親学級の平成27年からの数値減少については、実施回数は同数開催しているものの、共働き夫婦の増加や、初産婦の年齢が上昇傾向にあることによる両親学級への関心の低下、ネット社会により情報が容易に得られることなど様々な背景が考えられる。子育て情報や動画等を電子的に受け取れる電子親子手帳のユーザー数は平成28年度末時点で1,678人となっており、引き続き、現代社会に合った効果的な支援方法を検討していく必要がある。 ◆ 成果や課題 少子・高齢化社会に則した取り組みや検証が必要な中、柏市では待機児童ゼロを維持できている。今後も継続して対応できるよう取り組んでいく。 高齢者の増加については特別擁護老人ホームの床数整備も必須であるが、ヘルパーや介護従事者の確保も課題となっている。
49～72	◆ 平成28年度推進状況 イベントや講座などの啓発事業に若い世代や子育て世代の参加が大幅に上昇した背景には、参加時に子連れ可や保育対応、開催日時の調整等の工夫があった。進路や職業選択における性差意識を低下させるには、現状以上に女性のエンパワメントが必要であると考えられる。 若い世代に啓発事業の参加を促す工夫が効果となって現れてきていると考える。市の全部署にこうした工夫を浸透させる意識づくりや取り組みが今後の傾向に大きく影響すると考える。 ◆ 成果や課題 若い世代が早い段階で男女共同参画の視点を持つことで、子育てに活かされたり、また次世代の意識改革につながっていくと考えられるため、単に教育や学習の機会を増やすだけでなく、安心して学べる環境づくりを構築していくことも同時に課題である。
73～107	◆ 平成28年度推進状況 こころの健康について理解を促進するため、こころの病についての出前講座を実施しているが参加者が減少傾向である。事業を通し、出前講座の周知から強化する必要があると考える。 乳がん検診の受信者数の増加は、近年のネット情報による効果も考えられるが、保育環境の充実など安心して検診を受けられる体制も不可欠である。 また、市民公益活動団体が独自に行っているデートDV講座については、今後、市が連携することで啓発効果が高まると考える。 ◆ 成果や課題 全体的に子育て世代や学生など若い世代に身近な課題でもあるので、学校など関係各署と連携した啓発が必要である。
108～120	◆ 平成28年度推進状況 男女共同参画の新たな推進拠点として、オープニングイベント(参加者170人)、講座(10回、参加者数延べ162人)、女性に対する暴力をなくす運動啓発キャンペーン、男女共同参画フォーラム(講演会、分科会参加者合計248人)等を行い、男女共同参画の推進や男女共同参画センターの周知に向けた啓発、相談(相談者数延べ337人)事業に積極的に取り組んだ。 ◆ 成果や課題 アクセスも良いセンターで様々な事業を展開していくことで、広く市民へ周知することができた。引き続き、パレット柏という様々な世代が利用する場所にある利点を活かし、啓発事業への特に若い世代の参加促進に努めていく。

平成28年度男女共同参画推進状況【クローズアップ施策】

基本課題	施策番号	施策名
1	番号 1	審議会等で一方の性が35%を下回らない委員構成
	番号 9	防災会議等への女性の登用促進, および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討
	番号 11	女性防災リーダーの育成
	番号 17	農業委員・農協役員への女性登用の働きかけ
2	番号 31	広報紙等による情報提供
3	番号 51	男女共同参画週間における啓発の推進
4	番号 75	自殺予防のための啓発
	番号 85	女性のための各種健康診査, 子宮頸がん対策, 乳がん対策, 性差医療の情報提供等の充実
◆推進体制	番号 116	男女共同参画に関する職員研修の充実

平成 27 年度 平成 28 年度
33.6% ⇒ 35.5%

各年度4月1日比較

平成 27 年度 平成 28 年度
防災会議：12.82%⇒13.95%
国民保護会議：15.38%⇒17.07%

平成 27 年度 平成 28 年度
女性防災推進員：36 名⇒41 名

(3) 柏市農林委員会により



農業委員会だよりの女性コーナー



男女共同参画週間のポスター展示

平成 28 年度の新たな取り組み！
骨粗しょう症検査：対象者の 25.8%
の 4,898 人が受診

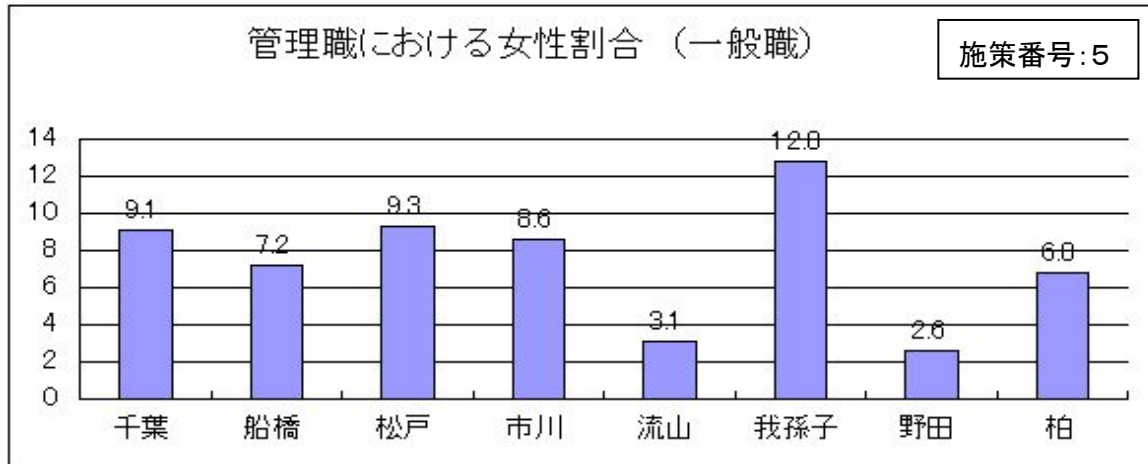
平成 28 年度 特別研修の実施

テーマ：人口減少社会の新たな上司像
～イクボスによる働き方改革～
講師：中倉 誠二 氏

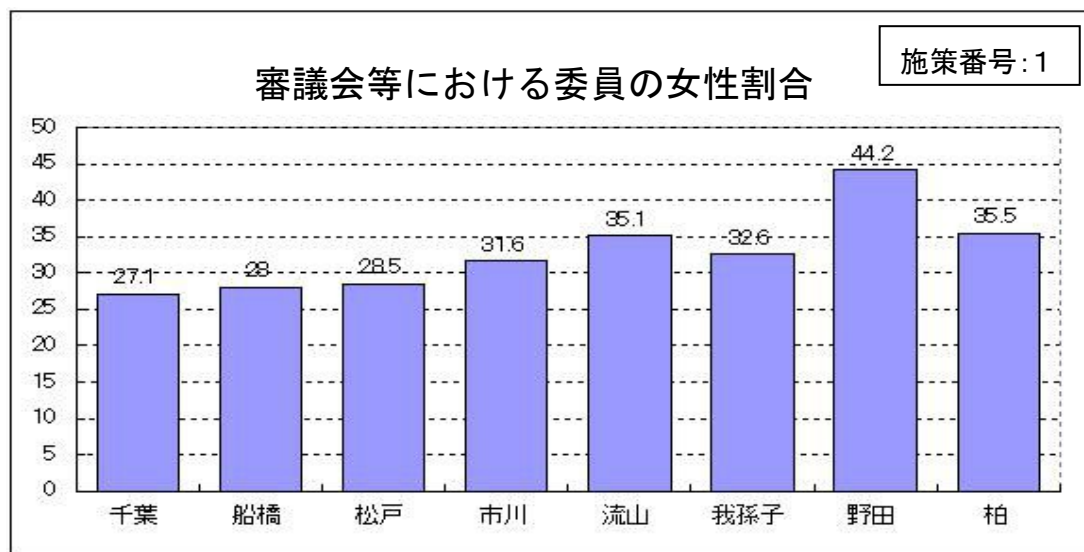
対象者： 124名に対し出席者119名

評価ポイント	担当課	詳細ページ
附属機関等所管部署に対し、委員改選時等に個別に声かけをすることで、昨年度当初より女性委員比率が改善した。詳細ページでは審議会総数が増えた以降(平成28年10月)の数値のため、減少している。	行政改革推進課 男女共同参画センター 審議会所管部署	P10
防災会議・国民保護会議の委員への女性の登用 平成27年度⇒平成28年度 [防災会議] 女性は5名/39名(12.82%)⇒6名/43名(13.95%) [国民保護会議] 女性は6名/39名(15.38%)⇒7名/41名(17.07%) 委員の選任において、人数、比率どちらも増加した。	防災安全課	P14
自主防災組織の育成に努めた結果、前年度より6組織増加。 その内、防災推進員等の役目を担っている女性の数は41名(防災推進員合計は473名)であり、前年度より5名増加した。	防災安全課 男女共同参画センター	P15
「農業委員会だより」に女性コーナーを設け、女性農業委員による取材・編集を行い、年2回発行。 女性農業者を紹介することにより、女性が活躍している状況を幅広く広報することができたほか、平成28年度現在、女性農業委員2名、女性農協役員2名がそれぞれ就任している。	農業委員会 農政課	P17
平成28年度にオープンした地域子育て支援拠点やショッピングモール内で「かしわこそだてハンドブック」や「かしわこそだてガイド」を配布するなど、人が多く集まる場所での効果的な支援情報の提供や相談先の周知・情報提供に努めた。	こども福祉課 子育て支援課	P26
平成28年度5月に新たに開設した柏市男女共同参画センターの周知も兼ね、男女共同参画週間にあわせセンター前で啓発ポスター等の掲示や啓発グッズを配布するなどパープルリボンキャンペーンを実施しパレット柏に集う多世代の来館者へアピールした。	男女共同参画センター	P35
柏駅東口駅前にパンフレットを配架するなど、広報活動の充実に努め、無料相談(電話相談・対面相談)の件数が、平成27年度の122件から平成28年度は254件に増加した。 自死遺族支援事業(「わかちあいの会ひだまり」)の参加人数が、平成27年度の延べ38名から延べ77名に増加した。	保健福祉総務課 関係部署	P44
乳がん、子宮頸がん集団検診では、保育の日を設け、(臨時)保育士を配置し、子育て中の女性にも受けやすい体制とし、女性のがん検診受診者数の増加に繋がったほか、平成28年度より骨粗しょう症検査を開始し、対象者の25.8%、4,898人が受診し、当初想定受診者数を大幅に上回った。	成人健診課 地域健康づくり課	P49
男女共同参画等に関する研修、ハラスメント等に関する研修、次世代育成支援対策推進法に関する研修、産前休暇取得予定者説明会など、各種研修において、男女共同に関する意識醸成の機会を創出した。	人事課	P64

①女性の活躍推進【重点課題】



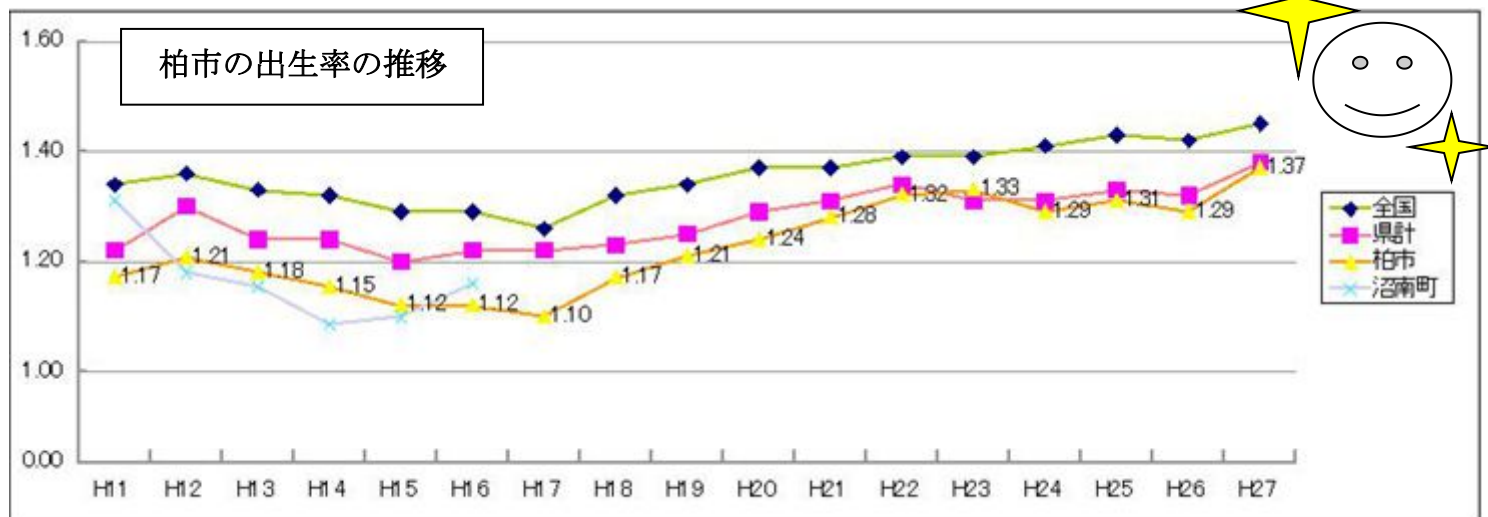
平成28年4月1日現在（千葉県男女共同参画白書データを基に作成）



平成28年4月1日現在（千葉県男女共同参画白書データを基に作成）

柏市の状況

②仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進



③男女共同参画を目指す教育・学習の推進

～多様なイベント・講座等の実施～

施策番号:49



ワタシが選ぶこれからのワタシ
～ママを楽しみながら自分らしいライフスタイルを見つけよう～

ワタシへのごほうび講座

2016年
6/16～7/14
毎週木曜日
午前9:30～午後11:30
全5回

会場：柏市男女共同参画センター（パレット柏内）

子どものこと、夫のことなど抱えている悩みがあったら気軽に話してみよう。
わたしはこれまでいろいろな悩みや不安、イライラすることもあるけれど、
自分らしいライフスタイルを見つけるヒントがいろいろあるんです。ママ友も気づかぬかも！

対象：専業主婦・子育て中の主婦・学生時代の友だち・子育て中女性
定員：30人（定員いっぱいまで）

申込：お申し込みは、お申し込みから電話またはインターネット
お申し込みは、お申し込みから電話またはインターネット

費用：1回1,500円（税込）を事前にお支払いください。お申し込みは、お申し込みから電話またはインターネット

主催・問合せ：柏市男女共同参画センター TEL: 04-7167-1127

女性のための育休明けセミナー
働き方・生活リズムの再調整の支援

私も働きたい

「もう一度働いてみたい」と。でも、働くことの不安や悩み、
また何から始めていいかわからないなど、抱えているママたちの悩みを、
キャリアカウンセラーと一緒でキャリア・デザイン・サポートとして、
働きたいあなたの気持ちを応援します。

平成28年
10/11～11/1 毎週火曜日 午前9:45～11:45

対象	育休明けを考えている子育て中の女性25人（柏市在住・高卒の者） お申し込み要
会場	柏市男女共同参画センター（パレット柏内）
申込	9月16日（金）午後5時～午後7時、電話またはインターネット お申し込みは要
費用	1回1,500円（税込）を事前にお支払いください。お申し込みは、お申し込みから電話またはインターネット
主催・問合せ	柏市男女共同参画センター TEL: 04-7167-1127

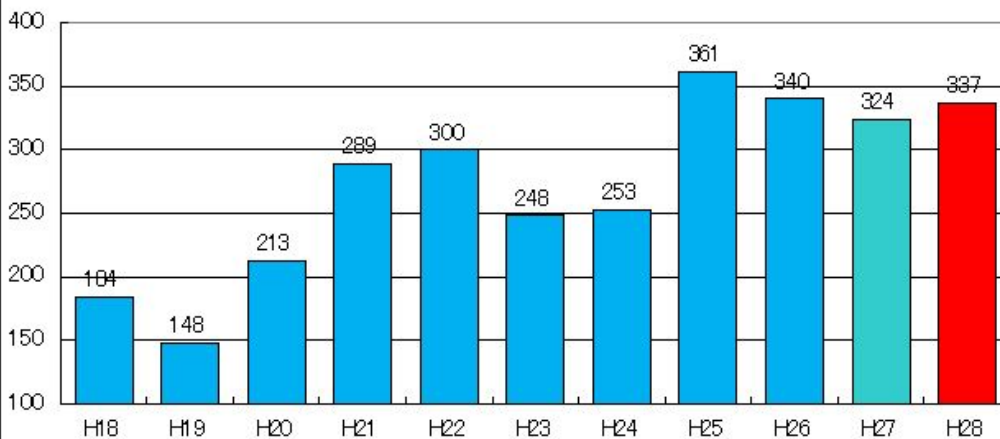
主催：市議会、市教育委員会、市労働委員会、市健康福祉委員会

④人権に対する配慮

～女性のこころと生き方相談事業～

施策番号:92

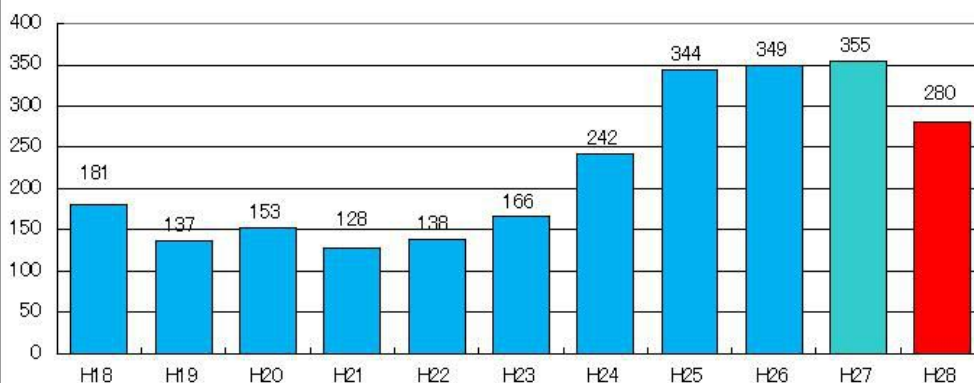
「女性のこころと生き方相談」相談件数の推移



H28年度は337件と
前年比13件増加し
ました。

～柏市のDV相談件数の推移～

DV相談件数の推移



H28年度は280件と
前年比75件減少し
ました。

◎ 具体的な施策の実施状況

(1) 市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

施策：1 政策・方針決定の場への女性の登用促進

番号 1

審議会等で一方の性が35%を下回らない委員構成

		担当課
平成28年度 実施事業内容	委員改選のあった附属機関等を所管する部署を中心に、委員の男女比率の偏向に対する配慮を働きかけた。 平成28年度においては、附属機関等の女性委員を295名（33.9%）登用している（人数は平成28年10月1日現在における延べ数）。	行政改革推進課 男女共同参画センター 審議会所管部署
具体的評価内容	附属機関等の委員については、専門的知識や経験等を必要とすることが多く、専門分野によっては女性がいなかったり少ないなどの社会の状況により、市単独での女性委員比率の向上は容易なものではない。しかしながら、附属機関等所管部署に対し、委員改選時等に個別に声かけをすることで、昨年度当初より女性委員比率が1%改善できた。	
継続的課題や改善点	引き続き、附属機関等所管部署に対し、委員の男女比率の偏向に対する配慮を働きかけていく。	
平成29年度 予定事業	附属機関の事務の手引きを作成する。	

番号 2

公募制度の推進と公募枠の拡大

		担当課
平成28年度 実施事業内容	平成28年度は、行政改革推進委員会を4回開催し、平成27年度から継続して公共施設総合管理計画の策定について、審議を行った。 平成28年5月に委員2名を追加し、委員10人で審議を行った。 この追加した委員のうち1名については、公募委員候補者名簿登録者の中から選出し、行政改革推進委員会は公募委員3名となった。	行政改革推進課 審議会所管部署
具体的評価内容	公募委員候補者名簿登録制度を活用した結果、個別に広報等により公募委員を募集したときよりも、所管部署の事務負担が軽減した。また、個別に募集した際には応募者がいなかった附属機関については、公募委員名簿登録制度を活用し、公募委員を選任することができた。 平成27年度：38名（4月1日時点） 平成28年度：49名（10月1日時点）※11名増	

継続的課題や改善点	引き続き、附属機関等所管部署に対し、公募委員の導入又は公募委員枠の拡大を働きかけていく。
平成29年度 予定事業	公募委員候補者名簿の登録期間が、平成29年12月31日に終了するため、公募委員候補者名簿登録の更新を行う。 第1回目の公募委員候補者名簿登録制度の状況を踏まえ、内容について見直しを図る。

番号 3

クォータ制（※1）の調査・研究

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	行政改革 推進課 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	委員改選のあった附属機関等を所管する部署に対し、委員の男女比率の偏向に対する配慮を働き掛けてきた。その結果、平成27年度当初の時点における女性比率32.9%から平成28年10月1日時点で33.9%に改善し、着実に目標値に近付きつつある。クォータ制については、他団体の状況を観察しながら、選択肢の一つとして研究していくが、当面は所管課への声掛けを優先して行っていく。	
平成29年度 予定事業	両課で連携したクォータ制の研究を目指す。	

※1 クォータ制とは、ポジティブアクションの手法の1つであり、人権や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度のことです。

番号 4

先進市の取り組みの研究

		担当課
平成28年度 実施事業内容	県の会議や研修会などを通じて各市の実施事業や取り組みについて意見交換や情報収集を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	県を中心とした各市の担当者との情報共有や懸案事項を積極的に共有化するなど関係部署・機関との連携強化に努めた。	
継続的課題や改善点	引き続き、各市の取り組み（特に最近では相談事業における男性相談窓口の設置状況・対応実績など）関係部署との連携強化・情報共有に努めながら相談体制の充実を図っていく。	
平成29年度 予定事業	引き続き、各会議等を通じ、情報交換や研究を行っていく。	

番号 5

女性職員の管理職への積極的な育成・登用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	女性活躍推進法に関する研修の実施（全所属長対象） 管理職選考の対象者及び所属長への管理職選考受験の案内 女性管理職同士の交流の場の設定 女性管理職の計画的な育成のための人事配置上の配慮	人事課
具体的計画内容	女性職員がその能力を十分に発揮できるような職場環境を形成するため、重要な役割を担う所属長の意識改革を図るとともに、女性職員が管理職を意識したキャリアを積んでいけるよう、人事配置における配慮を行った。	
継続的課題や改善点	女性職員のキャリアプランに対する意識醸成のため、意識啓発に向けた支援を行う必要がある。	
平成29年度 予定事業	所属長等による計画的な人材育成、管理職選考受験への後押し 女性職員のためのキャリアデザイン研修の実施（若手女性職員の育成）	

番号 6

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主
行動計画の推進

		担当課
平成28年度 実施事業内容	イクボス研修（全所属長対象） 上記法律及び計画に関する研修（新任所属長対象） 女性管理職同士の意見交換会（年2回実施）	人事課 男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	女性職員がその能力を十分に発揮できるような職場環境を形成するため、重要な役割を担う所属長の意識改革を図るとともに、女性管理職が悩みや情報を共有できる交流の場を設定し、サポートし合えるネットワークづくりを行った。	
継続的課題や改善点	上記実施内容の実施を継続する一方で、女性管理職の登用にに向けた人材育成及び意識啓発を同時に行っていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	女性職員のためのキャリアデザイン研修の実施 若手女性職員と女性管理職の交流の場の設定	

施策：2 女性のエンパワーメントに向けての環境整備

番号 7

女性人材リストの整備・活用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	独自に一時保育を依頼できる一時保育人材リストを活用し、自主事業や庁内各課の会議の際などに一時保育をつける場合に活用した。 附属機関等の市民公募リストを作成している関係課と連携して男女共同参画を推進することで各課が委員を委嘱する際に女性人材の積極的登用を促した。	男女共同 参画セン ター

具体的計画内容	他課と連携を図り、庁内に広く周知できた。 特に、指標でもわかるように、行政改革推進課が所管する附属機関等の女性人材登用率も前年と比較しても上昇している。
継続的課題や改善点	センターで多岐にわたる女性人材リストを直接作成することはなかなか困難ではあるが、庁内関係各課が独自に整備している女性人材リストの把握をし、活用を促進していくことが必要。
平成29年度 予定事業	継続して、関係部署と連携して女性人材リストの整備・活用を促進していく。

番号 8

男女共同参画センターでの講座の開催

		担当課
平成28年度 実施事業内容	ワタシへのごほうび講座（全5回） 女性の再就職セミナー（全4回） 父親学級in柏～夫婦力がアップする！一緒に産後へGO！～ （単発講座）	男女共同 参画セン ター 関係部署
具体的計画内容	ワタシへのごほうび講座（全5回）参加者延べ 55名 女性の再就職セミナー（全4回）参加者延べ48名 父親学級in柏～夫婦力がアップする！一緒に産後へGO！～ （単発講座）参加者19名	
継続的課題や改善点	若い子育て世代に積極的参加を促すには、保育の受付が必須であると感じる。引き続き、講座実施時には託児が可能な環境を整え、企画講座を実施していく。	
平成29年度 予定事業	一時保育ボランティア養成講座（全5回） ワタシへのごほうび講座（全5回） を実施予定。その他、1月にDVに係る単発講座を実施予定。	

(2) 防災・地域活動、雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進

施策：1 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画

番号 9

防災会議等への女性の登用促進，および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討

		担当課
平成28年度 実施事業内容	防災会議・国民保護会議の委員への女性の登用 平成27年度⇒平成28年度 [防災会議] 女性は5名/39名(12.82%)⇒6名/43名(13.95%) [国民保護会議] 女性は6名/39名(15.38%)⇒7名/41名(17.07%)	防災安全課
具体的評価内容	平成28年度委員の選任において，人数，比率どちらも増加している。	
継続的課題や改善点	委員の選任においては，必ずしも代表者に限らず管理職や役員の女性の登用を図る。	
平成29年度 予定事業	平成29年度は，平成30年2月に柏市防災会議の開催を予定している。また，国民保護協議会は平成18年度以降開催していない。	

番号 10

女性消防職員の採用，人材育成と管理職への積極的登用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	【女性消防職員の採用，人材育成と管理職への積極的登用】 前年度の採用試験で91人の受験生のうち女性4人が受験し，平成29年4月1日付けで女性1人を採用した。また，総務省消防庁の主催で行われた，「女子学生のための女性消防吏員の職業説明会の体験イベント」へ参加し，広報等に努めた。 採用職員の教育育成として，「千葉県消防学校初任科」に女性1名が入校した。 女性管理職員4人のうち1名を課長に登用している。 【防災の現場への女性職員の積極的登用】 女性職員24人中，火災救急受付の通信司令管制員5人，救急隊員8人及び消火隊員6人を配置し，被災者の男女のニーズに応えるため防災の現場への女性職員の積極的登用に努めている。	消防局
具体的評価内容	女性職員の火災救急受付の通信司令管制員，救急隊員及び消火隊員での活躍は，市民に安心感を与えるなど市民サービスの向上に貢献している。	
継続的課題や改善点	未改修庁舎の4庁舎（旭町消防署，光ヶ丘分署，沼南消防署，高柳分署）について，女性職員の配置を考慮した庁舎の改修等が可能な検討する。	
平成29年度 予定事業	職員の採用について，引き続き男女の区別なく募集を行い，積極的に採用に努める。 また，女性の募集については，ホームページ等などで女性説明会の受付を掲載し，人数が集まり次第に随時開催したい。 各種イベントへ参加し広報等に努めたい。 被災者の男女のニーズに応えるため防災の現場に女性職員の積極	

	的登用に努める。	
--	----------	--

番号 11

女性防災リーダーの育成

		担当課
平成28年度 実施事業内容	自主防災組織の育成に努め、平成28年度末で、222組織が結成されており、前年度に対して6組織が増加しました。なお、その内、防災推進員等の役目を担っている女性の数は41名（防災推進員合計は473名）であり、27年度の36名より増加している。	防災安全課 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	平成27年度に比べ防災推進員の女性の人数が5名増加した。	
継続的課題や改善点	引き続き、防災講習会等への女性の積極的な参加を呼びかけ、女性リーダーの必要性について広報していく。	
平成29年度 予定事業	防災講習会等を年70回以上（平成28年度は78回）実施することを目標に、防災意識の向上を図っていく。	

施策：2 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し

番号 12

地域防災計画等の点検および見直し

		担当課
平成28年度 実施事業内容	平成29年2月に地域防災計画を修正。女性については、女性防災リーダーの指名率の向上を掲げている（現状9.5%から平成32年までに25%へ）。	防災安全課 関総曙 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	地域防災計画に、男女共同参画の推進として、災害時における女性をめぐる諸問題を改善するため、各組織には女性の積極的な登用と、男女共同参画の視点に配慮した防災対策を推進するよう明記している。	
継続的課題や改善点	今後も積極的に女性防災リーダーの指名に努める。	
平成29年度 予定事業	具体的事業は未定。	

災害時の女性問題及び解決策の検討避難所生活等を含めた災害時の

番号 13

男女共同参画の視点に立った配慮

		担当課
平成28年度 実施事業内容	災害時に避難所におけるプライバシーの保護（特に女性）への配慮から、間仕切りを追加購入した。	

具体的評価内容	女性や要配慮者用の備蓄品の充実を図ることができた。	防災安全課 男女共同参画センター
継続的課題や改善点	今後も要配慮者に向けた備蓄品目の拡充を検討していき、また、自助としての啓発を強化していく。	
平成29年度 予定事業	平成29年度も間仕切りの追加購入を予定している。	

施策：3 雇用における女性の参画促進

番号 14

ポジティブ・アクション普及に向けた情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	企業における女性活躍の推進として、積極的な女性管理職の登用や活躍の拡大を図るべく、今後の企業表彰の方法などをふまえて検討した。	男女共同参画センター
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	ワーク・ライフバランスとの兼ね合いや、女性の活躍・能力開発につながるよう、具体的に実施していく。	
平成29年度 予定事業	企業（事業主）に対するアンケートや意識調査の実施を検討している。	

番号 15

就労に関する情報の提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	事業者による求人情報を掲載している就労支援サイト「わくわくかしわ」を運営すると共に、ハローワーク松戸より提供される「ハローワークまつど週刊求人一覧表」について、庁内（福祉政策課）、庁外（シルバー人材センター、かしわ地域若者サポートステーション）へ情報共有している。	商工振興課
具体的評価内容	「ハローワークまつど週刊求人一覧表」について、本年度より新規にかしわ地域若者サポートステーションへの情報提供を開始するなど、求人ニーズのある関連団体について共有範囲を拡大した。	
継続的課題や改善点	就労支援サイト「わくわくかしわ」の認知率・利用率を高め、事業者・求職者にとって使いやすいサイトの実現を目指す。	
平成29年度 予定事業	近隣市における就労支援サイトの運用状況を検討しつつ、「わくわくかしわ」のユーザーインターフェースや検索機能の見直しを図る。	

ハローワークと連携した就労支援活動の強化

		担当課
平成28年度 実施事業内容	ハローワーク松戸（松戸公共職業安定所）管内の事業者、商工会議所、自治体などにより構成される松戸公共職業安定所雇用促進協力会に特別会員として参画し、同所による企業説明会や教育機関における就職担当者会議などの運営費について、補助金を交付している。	商工振興課
具体的評価内容	定期的に情報（ハローワークまつど週刊求人一覧表）提供を受けている他（内外の関連団体へ共有）、福祉施設（老人ホームや障害児童施設）における求人情報の周知を図った。	
継続的課題や改善点	合同企業説明会など、ハローワーク松戸との共催事業実施の他、ハローワークプラザ柏との連携強化について検討する。	
平成29年度 予定事業	ハローワーク松戸が主催する事業について、共催もしくは後援を行うことにより、PR支援を行う。	

施策：4 農業における男女のパートナーシップの確立と起業者への支援

農業委員・農協役員への女性登用の働きかけ

		担当課
平成28年度 実施事業内容	現在、女性農業委員2名を登用。 「農業委員会だより」に女性コーナーを設け、女性農業委員による取材・編集を行い、年2回発行。 県等主催の女性農業委員研修会へ積極的に参加。 農業委員及び農協役員への女性登用の働きかけを行った。	農業委員会 農政課
具体的評価内容	「農業委員会だより」に女性コーナーにおいては、女性農業者を紹介することにより、女性が活躍している状況を幅広く広報することができた。 女性農業委員による積極的な女性農業委員研修会への参加により、農業委員の意識向上につながった。 女性農業委員2名、女性農協役員2名がそれぞれ就任している。	
継続的課題や改善点	今後も引き続き女性農業委員の登用を継続していく。 女性の登用3割を目指し、働きかけを行う。	
平成29年度 予定事業	平成30年7月には制度改正後、初めての農業委員の新体制が組まれる。（農業委員の定数変更及び新委員への委嘱を予定） 女性農業委員の登用に向け積極的に働きかける。 女性の登用3割を目標とし準備を進めていく。	

起業に関する情報の提供

		担当課
平成28年度 実 施事業内容	柏商工会議所と共催する「かしわ創業塾」のPRを行った他、新規事業として麗澤大学との連携による市内ベンチャー企業紹介ブログ「かしわ起業家物語」を市ホームページ上に開設した。	商工振興課

具体的評価内容	市ブログ「かしわ起業家物語」では、「かしわ創業塾」卒業企業や市内のインキュベーション施設（東葛テクノプラザや東大柏ベンチャープラザ）入居企業を学生が取材，市民目線とわかりやすい事業紹介を行うことで，ベンチャー企業の認知率アップに貢献した。
継続的課題や改善点	市ブログ「かしわ起業家物語」の記事クオリティを高めると共に，取材対象についてはベンチャー企業だけでなく，特徴的な技術やサービスを持つ企業へ拡大することを検討する。
平成29年度 予定事業	起業家養成セミナー「かしわ創業塾」を年間2期（各5回）開催する他，「かしわ起業家物語」の対象企業について，麗澤大学と調整を図りつつ，特定の分野に偏らない取材に配慮する。

施策：5 地域活動における女性の参画促進

番号 19

町会・自治会・市民活動団体・PTA等への働きかけ

		担当課
平成28年度 実施事業内容	新任町会長等勉強会の開催 『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び配布 柏市民活動フェスタ&ぽかぽか市2016の開催 市民活動講座の開催	地域支援課 男女共同参画センター 協働推進課
具体的評価内容	手引きを作成・配布し，町会長等及び役員への女性の登用を促す内容を記載した。 平成28年度町会・自治会・区長等の294人のうち，女性は22人である（平成27年度の18人より4名増加）。 柏市民活動フェスタ&ぽかぽか市2016を開催することで市民への活動PRの働きかけができた。また，市民活動講座では団体の活動がよりステップアップしたものとなるよう講座を展開した。	
継続的課題や改善点	引き続き，情報提供の機会の拡充に努める。 男女を問わず，一層の情報提供を行い，イベントの周知，参加の促進を図る。	
平成29年度 予定事業	引き続き，以下を実施予定。 ・新任町会長等勉強会の開催 ・『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び 配布 ・柏市民活動フェスタ2017 ・市民活動フリーマーケットぽかぽか市 ・市民活動講座 ・市民活動交流サロン	

(3) 男女が共に担う家庭・地域づくり

施策：1 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進

番号 20

地域活動・市民活動の情報収集と提供、地域コミュニティ活動の推進

		担当課
平成28年度 実施事業内容	市民公益活動ガイドブックの作成及び配布 柏市民活動ニュースレターの発行	協働推進 課 地域支援 課
具柏の計画内容	市民公益活動ガイドブック作成及び配布、柏市民活動ニュースレターの発行により情報提供を行い、市民活動への参加の促進、拡大を図った。	
継続的課題や改善 点	引き続き、情報提供の機会の拡充に努める。	
平成29年度 予定事業	柏市民公益活動ガイドブックの作成 柏市民活動ニュースレターの発行	

番号 21

ホームページや市民交流センター運営等による市民活動の 情報発信・支援

		担当課
平成28年度 実施事業内容	柏市民活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」の公開 市民活動サポートコーナーによる市民活動の情報発信及び相談 支援	協働推進 課
具柏の計画内容	情報サイトや市民活動サポートコーナー窓口等により情報提供 を行い、市民活動への参加促進、拡大を図った。	
継続的課題や改善 点	情報サイト等による情報発信・支援を促進させ、市民活動周知 に繋げていく。	
平成29年度 予定事業	柏市民活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」の公開 市民活動サポートコーナーによる市民活動の情報発信・相談支 援 パレット柏指定管理者による市民活動に関する企画の実施	

番号 22

町会・自治会・区等への勧誘

		担当課
平成28年度 実施事業内容	新任町会長等勉強会の開催 『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び配布	地域支援 課
具柏の計画内容	新任町会長等勉強会を開催し、手引きを作成・配布することにより、男女を問わず、地域活動に参加する機会を広げた。	

継続的課題や改善点	引き続き、情報提供の機会の拡充に努める。	
平成29年度 予定事業	新任町会長等勉強会の開催 『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び配布	

番号 23

育児に関する講座

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男性の家事・育児・介護等への積極的参画を促し、子育ての大切さを共有し、安心して子どもを産み育てていくための事業を展開した。 ・「ママパパ学級」（育メン編） 実施回数24回 受講者数871人 ・「離乳食教室」 実施回数26回 受講者数829人 ・「ママパパクッキング」 実施回数7回 受講者数67人 公立23園において育児講座実施（全72回・参加者3,806人） 内容：離乳食・簡単朝食の作り方、歯磨き、保護者対象メンタルコーチ、病気の予防、わらべうた、製作・手作りおもちゃ、歌、お話会、絵本の読み方与え方、親子ヨガ、キッズマッサージ、ダンス（フラ・ヒップホップ）ベビーヨガ、リトミック、親子ふれあい遊びなど	地域健康 づくり課 保育運営課
具柏館評価内容	妊娠・出産・育児に関する正しい知識、情報の提供により、子育て家庭の安心した出産を支援している。事業を通して、父親の主体的な育児参加を働きかけ、理解促進を啓発した。夫婦が共に協力し、家族の健康づくりに取り組む重要性を伝えることができた。 地域の保護者が育児講座を通じ、保育園について知り、気軽に保育園を訪れたり（園庭開放に参加）、保育士に相談をしてもらうようになった。支援の必要な親子に対し、必要な情報を提供し関係機関に繋げることができた。	
継続的課題や改善点	核家族化・共働きの増加等の社会、家族形態の変化により、子育て家庭の抱える不安が増大し、子育ての負担感や孤立感の高まりがみられる。 妊娠・出産・育児の正しい知識、情報の提供が必要だが、自由参加、講義形式の講座では、ニーズの低い家庭の参加は望めない。個別ニーズに応じた効果的な支援のあり方について、見直しが必要である。 参加者から好評で人気講座（ベビーヨガなど）は、同じ人が他の園を複数回参加している。限られた予算・人を効率的に運用するために、実施方法を検討する。	
平成29年度 予定事業	「ママパパ学級」（育メン編） 実施回数24回 「離乳食教室」 実施回数26回 「ママパパクッキング」 実施回数7回 ※その他、妊娠期、乳児期における「トライアル事業」実施予定 保育園の「子育て支援の一環としての事業」。育児講座をきっかけに日常の生活で保育園を利用（園庭開放・育児相談）して	

	もらうよう、園単位での実施から地区ごとの実施とし、広くPRしていく。	
--	------------------------------------	--

番号 24

介護保険の制度やサービスなどに関する講座

		担当課
平成28年度 実施事業内容	柏市生涯学習まちづくり出前講座において、7件の講座に講師を派遣した。 一部の地域包括支援センターでは独自の事業として、男性介護者交流会、独居の男性を対象とした交流会、男性で構成されている団体に対する支援等を実施している。 出前講座として、「介護保険制度」、「ケアプランの書き方」をテーマに6回、185名を対象に行った。	高齢者支援課 福祉活動推進課 介護保険課
具柏館評価内容	町会・自治会等一般市民を対象に、柏市高齢者いきいきプラン21についての説明や、新しい総合事業に関する説明等を職員から行い、高齢者福祉の現状と課題、介護保険制度についての理解を図った。 座談会等による交流の場を提供し、同じ立場の方達で話をすることで介護ストレスを発散し、継続して参加していただくことで孤立化の防止にも繋がっている。また、お互いに情報交換したり、市が情報提供することで、介護方法や介護サービス等について知る場にもなっている。 男女問わず、介護保険制度について周知することができた。	
継続的課題や改善点	市民がサービスを利用しやすいよう、さらに介護保険制度の周知を図ることが必要。 参加者が限定されているため、参加人数が伸びづらい。 保健福祉部内で連携をとりながら、介護保険制度及び在宅福祉サービスについて周知していく。	
平成29年度 予定事業	同様に市民からの要望に応え、講座に講師を派遣し、積極的に周知を行っていく。 引き続き、出前講座の依頼があった場合には、介護保険制度及び在宅福祉サービスについて周知していく。	

(4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり

施策：1 仕事と生活を両立できる環境づくり 保育サービスの充実

番号 25

既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行 私立認可保育園の整備
延長保育 病児保育 病後児保育 産休明け保育 こどもルーム

		担当課
平成28年度 実施事業内容	既存幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行1園、私立認可保育園2園、小規模保育事業A型1園、幼保連携型認定こども園増改築1園の整備を行った。	

	富勢こどもルームを学校施設内に移転を行った。 光ヶ丘小こどもルーム建替の準備を行った。 柏六小こどもルーム増設の準備を行った。	保育整備課 学童保育課 保育運営課
具体的評価内容	平成28年度の整備により333人の利用定員の増加を図り、平成29年4月1日における国基準の待機児童数ゼロを達成したものの、認可保育園等への入園が保留になっている児童の数（入園保留者数）の解消にまでは至らなかった。 施設整備により、受け入れ可能な児童数が増えた。	
継続的課題や改善点	今後も保育需要の分析を継続して行い、既存幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行、私立認可保育園等の整備に対する補助を積極的に実施することにより、入園保留児の解消に向けて、必要なエリアに私立認可保育園等の定員の増加を図る。 児童の安心、安全な居場所づくりに努める。	
平成29年度 予定事業	私立認可保育園・幼保連携型認定こども園を6園程度整備する予定。 光ヶ丘小こどもルームの建替を行っていく。 十余二小こどもルームの増設を行っていく。 柏六小こどもルームの増設を行っていく。 田中小こどもルームの増設の準備を行っていく。 小学校の多目的教室等借用による保育スペースの拡充を行っていく。	

子育て支援事業の充実

番号 26

児童センター、地域子育て支援センター、一時保育、
ファミリー・サポート・センター

		担当課
平成28年度 実施事業内容	地域子育て支援センター16か所（公2、私14）で子育てサロン、育児相談を行なう。 一時保育事業を公立8園、私立21園で実施している。 各保育園で育児講座、育児相談、園庭開放、世代間交流をおこなう。 なかよし広場事業を行い、地区ごとの保育園のプレイルームを開放し、親子で遊ぶ機会を作る。 （ファミリー・サポート・センター） 事業目的・・・子育ての援助を受けたい方（利用会員）と援助を行いたい方（協力会員）との地域における育児の相互援助活動の推進を目的とする。 実績・・・会員数1,636人（平成29年3月31日現在） （内訳：利用会員1,304人・両方会員63人・協力会員269人）年間総援助件数8,003件 （児童センター） 親子が自由に交流できる場の提供や交流の促進、子育てに係る相談や情報提供、講座などの事業を実施した。 実績・・・総利用者数111,673人（平成29年3月31日現在） （内訳：しこだ22,052人・豊四季台19,115人・光ヶ丘遊戯室6,555人・永楽台19,012人・高柳20,198人・南部みんなの広場18,991人・布施遊戯室3,541人・施設外事業2,209人）	保育運営課 子育て支援課

具体的評価内容	子育ての不安や悩みを解消、共感できる。親同士の交流が図れた。 公立育児講座参加人数 計6,276人 公立保育園実施分3,806人・支援センター実施分2,470人 地域子育て支援センター利用人数 11,825人 なかよし広場事業の参加人数 296人 ①当該事業の実施により、子育てに係る負担感の軽減及び子育て家庭の仕事と育児の両立に寄与している。 ②既存の保育サービス等と組み合わせて活用することで、多様化する働き方にも対応することができている。 平成28年度から親支援プログラムを開始し、生後2か月から5か月までのお子さんを初めて育てている母親を対象とした「BPプログラム」を計6回、3歳から6歳児の保護者を対象とした「ペアレント・プログラム」を計2回実施し、子育てに関する悩みや不安の軽減に寄与した。	保育運営課 子育て支援課
継続的課題や改善点	より多くの人に参加できるように事業実施する。 子育ての情報提供をする。 継続的に事業周知を行い、より多くの人に利用しやすい環境を整え、会員を増加させる。利用会員の様々なニーズや雇用形態に対応するため、援助する協力会員と両方会員の増加は必須となる。 従事者のスキルアップによる質の向上や他部署・他機関、地域との連携を継続的に行っていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	子育て支援事業は引き続き実施する。 新設園には地域子育て支援センター事業、一時保育事業のサービスの拡充を依頼する。 ①子育てサイト「はぐはぐ柏」や欲しい情報が手元に届く「LINE@」などを活用し、事業のPRを実施 ②沼南社会福祉センターで月2回拠点型一時預かり活動を実施 ③会員向けのフォローアップ研修を拡充 ①子育てサイト「はぐはぐ柏」や広報、LINE等を活用して施設や事業の周知を図っていく。 ②平成28年度に引き続き親支援プログラムを実施する。（BPプログラムは計8回、ペアレント・プログラムは計3回を実施予定）	

番号 27

地域ぐるみの子育て支援 母と子のつどい

		担当課
平成28年度 実施事業内容	保護者の育児に関する不安・悩みの相談に応じ、親同士の交流により互いに解決し合う場を提供する子育て支援の場として実施した。 ・実施回数236回 参加者延数11,163人	地域健康 づくり課
具体的評価内容	地域の柏市民健康づくり推進員等との協働実施により、子育て家庭が、地域の幅広い世代と交流できる機会が創出され、地域全体で子育てを支援する輪が広がっている。一方、自由参加の当事業では、ニーズの低い家庭の参加が望めず、実参加人数は約3割の状況である。	

継続的課題や改善点	核家族化・共働きの増加等による、子育て家庭の不安増大への支援として、効果的な支援の見直しが必要である。
平成29年度 予定事業	手賀地域、田中地域を除く各地域において、毎月開催 ※その他、乳児期における「トライアル事業」実施予定

番号 28

**教育相談、子育てにこにこ電話相談、育児相談、
家庭児童相談の充実、利用者支援事業**

		担当課
平成28年度 実施事業内容	（子育てにこにこ電話相談） 子育て支援施策の一環として、相談専用回線を設け、妊産婦や乳幼児の健康、育児にかかわる多様な内容に対して、相談・助言を実施した。 相談総数 1, 158人 （利用者支援事業） 保育園在園児の保護者に対し、子育て情報を提供する。 配布物…園便り・クラスだより・保健だより・給食だより等で、情報提供を行う。 園内掲示物…遊び・生活の様子をクラスのボードで知らせる（文章・写真等）、給食サンプル展示、園全体の取り組みを写真や文書で掲示 行事…保育参観（参加）・運動会・お楽しみ会等で、集団の中ですぐ様子を見てもらう。 懇談会…全体懇談会・個別懇談会で、家庭と園の様子を伝え合う。 各家庭との情報交換…連絡帳のやり取り。朝夕の情報交換。 個々のお子さんの様子を家庭と園で伝え合う。 緊急時の情報提供…すくすくメール こどもを取り巻く家庭状況や虐待、しつけ、学校の教育上の問題などで悩みのある方の相談を受け支援を行った。 （相談対応件数 1, 028件）	地域健康 づくり課 保育運営 課 こども福 祉課 子育て支 援課
具体的評価内容	相談事業等の実施により、子育て家庭の不安解消、主体的な子育ての支援につなげてきた。平成28年度の相談件数は前年度に比べ、若干減少しているが、育児者の心の問題や、育児が困難な家庭事情、虐待の恐れのある相談等、個別的且つ継続的な支援を要する相談が増加している。 【保育園の保育・教育の可視化】を目指し、情報提供を行う。 緊急時に保護者に対して情報提供するため、すくすくメールを利用。 定期的（月1回程度）に園からメール送信し、送信・受信の訓練とする。 保健福祉部、こども部、保健所、教育委員会等の関係部署、及び児童相談所、警察、医療機関、各学校、各保育園・幼稚園等の関係機関との連携して適切に支援を実施し、虐待を未然に防ぐことが出来るよう適切に支援・対応することができた。	
継続的課題や改善点	相談内容に応じて、地域担当保健師につなぐ等の継続的な支援につなげる対応を行う。 保育園の保育・教育の可視化 緊急時に、速やかに保護者に情報提供をすること ⇒保護者のアドレス変更や着信拒否等で、月毎に変更することがある。	

	相談者に対し、より具体的な助言を行っていくこと。相談対応の状況を担当内で共有し相談対応の充実を図ること。	
平成29年度 予定事業	専任の保健師、助産師による電話相談の実施。 土・日・祝日、年末年始を除く 9時から12時、13時から17時 保育園の保育・教育の可視化】を目指し、引き続き丁寧な情報提供を行う。 緊急時のメール配信が確実に届くようにする。 児童福祉法改正に伴う支援体制の構築を実施し、関係機関とのさらなる連携強化に努め、適切に支援する。	

番号 29

要保護児童対策地域協議会関係機関との連携強化

		担当課
平成28年度 実施事業内容	支援対象児童等の早期発見や適切な保護・支援を図るため、関係機関が情報共有を行い連携しながら、適切に支援すること目的とする柏市要保護児童対策地域協議会を平成18年度に設置。 関係機関で情報を共有し、支援等における役割を明確にすることで連携を強化している。	こども福祉課
具体的評価内容	代表者会議1回、実務者会議を2回、協議会対象の重篤な世帯に関する支援方針を検討する進行管理部会を6回開催し、適切な情報共有と連携強化に努めた。 また、児童福祉法の改正に伴い、支援対象児童における関係機関からの迅速且つ適切な情報提供を呼びかけ、児童虐待が発生する前から支援を開始し、児童が安心して暮らすことができるよう関係機関に協力を求めた。	
継続的課題や改善点	支援における具体的な役割の明確化。適切な情報共有の構築。	
平成29年度 予定事業	関係機関を対象とした事例検証、研修会等を実施し、児童虐待における知識を深め、より具体的に対応できるよう努める。	

番号 30

母子・父子自立支援相談の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	ひとり親家庭の父母及び寡婦に対し、各種制度の情報提供、生活全般の相談などに応じ、その対象者に必要な相談支援を行った。 (相談件数2,084件)	こども福祉課
具体的評価内容	家庭児童相談室、秘書広報課、男女共同参画室、生活支援課などの関係部署との連携を図り、良好に対応することができた。	
継続的課題や改善点	事業の実施においては引き続き関係各課との連携が不可欠。	
平成29年度 予定事業	平成26年度に改訂し、平成27年4月から施行した第2期柏市ひとり親家庭等自立促進計画の着実な実施につながるよう務めていく。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	柏市HP，広報紙，チラシの作成等を通じて事業の周知を図った。 出生時や転入時などに配布する子育てに特化した情報誌として「かしわこそだてハンドブック」を市役所窓口や出張所，子育て支援施設などで配布した。市内5地域ごとに遊び場情報などをまとめた「かしわこそだてガイド」を増刷し，ハンドブックと同様に子育て支援施設等で配布した。	こども福祉課 子育て支援課
具柏館評内容	支援情報の提供や相談先を広く周知できるよう，様々な媒体を用いて情報提供を図るよう努めた。 平成28年度にオープンした地域子育て支援拠点やショッピングモール内において「かしわこそだてハンドブック」や「かしわこそだてガイド」を配布した。人が多く集まる場所での配布を行うことで，多くの方への情報提供となった。	
継続的課題や改善点	引き続き，相談体制の充実と情報提供に努める。 「かしわこそだてハンドブック」について，払出数調整のため配布のタイミングや配布場所を絞り配布していた。改訂版の発行に際し発行部数が増えたこと，また子育て当事者が手に取りやすいように，配布・設置場所について，子育て支援団体の活動場所やイベント会場における配布なども視野に入れ，検討する。 「かしわこそだてガイド」については，5地域のガイドの表紙がいずれもよく似ており，判別しづらいという意見があった。改訂版作成の際，地域ごとに表記を色分けをするなど，工夫する。	
平成29年度 予定事業	柏市HP，広報紙，チラシの作成等を通じて事業の周知を図る。 「かしわこそだてハンドブック」の改訂及び発行 市内5地域ごとの「かしわこそだてガイド」の改訂及び発行	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	柏市民健康づくり推進員の活動として，生後3～4か月頃までの赤ちゃんのいる家庭に伺い，身近な地域で安心して子育てができるように声かけを実施している。その際，柏市の母子保健サービスや地域の情報等の資料を配布し，地域で市民目線での温かな見守りと子育て支援を行っていることを伝えている。	地域健康づくり課
具柏館評内容	訪問・電話等による対応件数：2,555件 不在の場合にも電話連絡がついた場合には資料を届けるなど，情報提供を行っている。情報提供により，地域で開催している「母と子のつどい」へ参加するなどのきっかけとなっている。	
継続的課題や改善点	転出入も多く，子育て世帯が孤立化する可能性があることが課題。 不在や電話連絡の取り難さ，オートロックマンションなどの難しさもあるが，推進員の赤ちゃん訪問が，地域に住む親子が初めて地域とつながるきっかけとなる大切な役割と考え，地域活動として継続実施の予定。	

平成29年度 予定事業	生後3～4か月頃までの赤ちゃんのいる家庭への声かけ訪問を 継続実施	
----------------	--------------------------------------	--

番号 33

子育てサイト「はぐはぐ柏」の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	「はぐはぐ柏」では、子育てに関連したイベントや遊び場、制度などの最新情報を発信した。 サイト内にブログコーナーを設け、柏市在住のお母さんによる「柏っ子ママのおでかけレポート」、柏レイソルの選手のインタビュー記事「柏レイソル×子育てインタビュー」を掲載した。	子育て支援課
具柏館評価内容	子育て家庭や子ども・子育てを支援するかたを対象として、有益な情報提供を行っている。平成28年度は新たなコーナーの開設など、サイト内コンテンツの充実を図った。 サイトのページ閲覧数は、年間1,165,351件で前年比209,655件減であった。閲覧数減少の原因はいくつか考えられるが、平成28年3月に「はぐはぐ柏」が紐付く「柏市オフィシャルウェブサイト」のリニューアルがあり、それが1つの要因になっていると推察される。	
継続的課題や改善点	男性の子育てに対する関心や関わりは年々増えてきている。また祖父母や子育て支援者など、だれにとってもわかりやすく、魅力的な情報発信ツールとなるように努める。	
平成29年度 予定事業	子育てサイトの管理・運営 無料通話アプリ「LINE@」を活用した、サイト更新情報の配信 「Twitter」を活用した、サイト更新情報の配信 様々な媒体による子育てサイトの周知	

番号 34

特別養護老人ホームの整備

		担当課
平成28年度 実施事業内容	既存特別養護老人ホームの増床等（51床）を整備した。	高齢者支援課
具柏館評価内容	比較的ニーズが高い「多床室」を51床整備し、待機者の解消に努めた。	
継続的課題や改善点	特別養護老人ホームの待機者数は640人（平成29年1月1日現在）となっているが、施設を運営している法人からは「実質的な待機者は多くない」との意見もある。このため、近い時期に入所が必要な待機者数を把握した上で、特別養護老人ホームの必要数を計画する必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成30年度から32年度を計画期間とする次期の第7期高齢者いきいきプラン21の策定に向けて、必要な検討を実施する。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	市内9箇所の地域包括支援センターについて、配置職員を増員し、事業の充実を図った。また、職員を対象とした研修やセンターの評価事業を行うことでサービスの質の向上に努めた。	福祉活動 推進課
具柏館評価内容	行政評価や市民のアンケート結果は概ね良好な結果となっており、高齢者やその家族に対して適切に支援を実施できていると思われる。	
継続的課題や改善 点	まだまだ地域包括支援センターの認知度は低く、継続して周知していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	地域包括支援センターの機能強化を目的に新たにセンターを2箇所設置する。また、様々な機関と連携しながら事業の充実を図る。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	介護予防拠点における介護予防事業の内容を、フレイル予防の概念に沿って整理し、実施する。	福祉活動 推進課
具柏館評価内容	フレイル予防の3つの柱である「栄養（食・口腔）」・「運動」・「社会参加」の分野別に、以下のとおり参加（実人数）があった。 (1)ほのぼのプラザますお：講座＝278回、参加者数＝1072人 (2)いきいきプラザ：講座＝47回、参加者数＝590人	
継続的課題や改善 点	市内2箇所の介護予防拠点の連携が少ないこと、3つの柱の講座の量的バランスが取れていないこと、自主活動支援や相談機能が弱いことが課題とされている。	
平成29年度 予定事業	市内2箇所の介護予防センターの事業の整理や体制の検討を行い、自主活動支援や相談機能の強化を図る。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	障害者（児）を日常生活において介護する母親等の女性を支援するために、ホームヘルパーなどの居宅支援サービスを実施するとともに、介護者が第三者に有料で障害者（児）の介護を委託した場合に、その費用の一部を助成した。	障害者相 談支援室
具柏館評価内容	障害者（児）の家族の負担軽減につながった。特に介護の中心は母親であることが多いため、女性の介護負担の軽減による他の社会活動への参加促進につながった。	
継続的課題や改善 点	ホームヘルパーなどの居宅支援サービスは法律に基づく国の制度で、一時介護委託料の助成は市独自の制度である。市の制度は国の制度を補完する役割を持つものとしてあり方を常に見直す必要がある。	

平成29年度 予定事業	継続して実施する。	
----------------	-----------	--

施策：2 仕事と生活を両立できる意識づくり

番号 38

労働基準監督署等が開催する講座等の情報提供、関係機関と連携した意識啓発の推進

男女雇用機会均等法 労働基準法 育児・介護休業法パートタイム労働法

		担当課
平成28年度 実施事業内容	商工振興課など関係部署を通じて、啓発を行った。 男女共同参画の視点で、労働環境における格差や差別などが無いよう、関係部署への働きかけやポスター掲示などを通じて啓発に努めた。 市民向け冊子「あなたが困った時・・・相談窓口」に「働く人の悩みに関する相談をしたい」場所として、ハローワークプラザ柏を掲載している他、ポスターやチラシ等、適宜ハローワークからの情報提供に応じて所属配架、庁内掲出などを行っている。	男女共同 参画セン ター 商工振興 課
具柏の計画内容	人事課や商工振興課など関係部署と連携して、意識付けや啓発活動に努めた。 労働政策上の強化月間（週間）に合わせて作成されるポスター類を庁内へ掲出することで来庁者に対する周知啓発を行っている。	
継続的課題や改善点	庁内、民間事業所両方に向け、男女共同参画の視点からの平等な労働環境整備の促進や、男性の育児休暇取得の促進、ライフ・ワークバランスの促進に努めていく。 今後は、ハローワーク主催事業について、本市共催もしくは後援を行うことで、市広報を活用したPRを図る他、本市事業（かしわ地域若者サポートステーションやアイワーク柏）についても、ハローワークでの周知協力を依頼したい。	
平成29年度 予定事業	継続的啓発の実施のほか、本市だけでなく、近隣市と共同による事業の共催を検討したい。	

番号 39

母性保護の普及

母性健康管理指導事項連絡カードの活用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	市役所本庁内（母子保健コーナー）、沼南支所内に相談室を設け、妊産婦、乳幼児及び健康に関する相談受付、妊娠届出書の受理及び母子健康手帳の交付を行っている。 - 母子保健コーナー、沼南保健相談室利用状況 総数6,748人 - 母子健康手帳交付状況 総数3,315人	地域健康 づくり 課
具柏の計画内容	母子健康手帳には、母性健康管理指導事項連絡カードが提示されている。母子健康手帳交付時の専門職面談では、働く妊婦への助言指導として、『妊婦健康診査等で医師から指導を受けた場合に、指導事項を会社へきちんと伝えることができるよう、母性健康管理指導事項連絡カードを有効活用すること』を説明している。	

継続的課題や改善点	母子健康手帳交付時の専門職面談率は約4割であり、その他は、事務職の対応となっている。妊娠期からの切れ目のない支援（専門職による面談）の充実のため、母子健康手帳交付窓口の集約、機能強化が求められる。
平成29年度 予定事業	平成29年度より柏市妊娠子育て相談センター（子育て包括支援センター）を整備した。関係機関、関係課との連絡調整、専門職による個別支援の充実を進めている。加えて、平成29年10月より、母子健康手帳交付窓口を集約し、相談支援体制の機能強化を図る予定である。

番号 40

広報紙等による啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画センターHP「参画EYE」で関係する情報を掲載しているほか、厚生労働省の雇用均等における労働者のためのリンクページを掲載している。	男女共同 参画セ ンター
具柏の評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	引き続き、働く女性の母性保護に係る最新の情報提供に努める必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	

番号 41

家族経営協定の情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	農業委員会だより等で紹介や家族経営協定者への農業者年金保険料の補助もあることから、農業委員会だよりの送付時に農業者年金パンフレットを同封し農業者へ情報提供を行った。 家族経営協定は、家族農業経営にたずさわる各世帯員が意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものである。	農業委員 会 農政課
具柏の評価内容	（経営への参画支援） 経営改善計画の再認定の際に、家族経営協定締結によるのメリットを説明し、協定締結の促進を促した。	
	認定農業者や家族経営協定締結者には農業者年金の保険料の補助制度があることを農業委員会だより等で紹介した。	
	家族経営協定を新規2件締結した。	
継続的課題や改善点	農業委員会だよりで、継続的に発信していく。	
	引き続き制度のPRと、家族経営協定の締結の働きかけを続けていく。また、今後は意義の再確認と締結農家同士の情報交換等により、締結農家へのフォローアップを行うことも必要である。	

平成29年度 予定事業	農業委員会だよりの農業者年金コーナーで、保険料の補助制度が女性の家族協定締結を応援していること等を紹介していく。 家族経営協定制度や農業経営改善計画の共同申請制度の認知度向上のため、女性農業者の行事等を通じて制度のPRを行う。また、次年度に経営改善計画の更新を迎える農業者を中心に、家族経営協定の締結や農業経営改善計画の共同申請の働きかけを行う。	
----------------	---	--

番号 42

自営業者への情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	男女共同参画センター
具体的評価内容	・評価無し	
継続的課題や改善点	商工振興課や商工会議所等と連携し情報提供等を検討していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	検討中	

番号 43

女性の職業生活における活躍促進に関する法律に伴う推進計画の検討

		担当課
平成28年度 実施事業内容	商工振興課と国や県における同法の推進に係る政策を注視しつつ、女性の活躍について意見交換を行った。 自主講座として女性の再就職のための講座を実施した。 国や県における同法の推進に係る政策を注視しつつ、女性の活躍について男女共同参画センターと意見交換を行った。	男女共同参画センター 商工振興課
具体的評価内容	実施講座については、女性活躍推進とあわせ、子育て中の女性のエンパワメントに非常に効果的であった（全4回講座、受講者数48名） 本市労働政策上、女性活躍の場創出や同法周知に係る方策について、検討を行った。	
継続的課題や改善点	引き続き、女性活躍推進に向けた講座や啓発が必要。 現段階では市内企業に対する周知に至っていない。	
平成29年度 予定事業	庁内をはじめ、商工振興課、商工会議所との連携を図り、ワーク・ライフバランスの推進と女性活躍の推進に向け協議を重ねていく。 引き続き、男女共同参画センターとの意見交換を行い、効果的な周知方法について検討を重ねたい。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	人事課と連携して、庁内のイクボス研修講座を実施した。	男女共同 参画セン ター 関係部署
具体的評価内容	市内企業など、外に向けた発信・啓発も重要だが、まずは庁内から意識改革を行うという点で大変有効であったと思う。	
継続的課題や改善点	庁内から市内企業へ視点を広げ、従来の企業表彰とはまた違った方法で、企業側のメリットを考えた、表彰や啓発方法を考える必要がある。一回きりの表彰ではなく、継続的評価（企業メリット）につながるやり方を検討していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	従来の方法とはまた違ったライフ・ワークバランスの啓発・企業表彰を実施するために、商工会議所などと連携しながら、まずは市内中小企業の意識調査アンケートの実施を予定している。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	商工振興課と連携して、広く情報提供できるよう努めた。 センターでの相談においても、仕事や職場についての相談もあるため、適宜、適切な相談窓口を引き継ぐなど情報提供を行っている。	男女共同 参画セン ター 商工振興 課
具体的評価内容	市民向け冊子「あなたが困った時・・・相談窓口」に「働く人の悩みに関する相談をしたい」場所として、柏労働基準監督署やハローワークプラザ柏を掲載している他、ブラック企業対策窓口として本市では当課が対応に当たっている。	
継続的課題や改善点	適切な情報提供に努めた。 ブラック企業対策窓口として、実際の相談案件については、当該企業の実態を従業員よりヒアリングした上で、柏労働基準監督署の専門スタッフへ取り次いでいる。	
平成29年度 予定事業	庁内だけでなく、市内事業者や従業員に届くような情報の提供や、周知が必要。 市内事業者や従業員に対して、労働基準監督署やハローワーク、市役所の窓口が認知されていないケースもある為、一層の周知が必要と考える。	
	ワーク・ライフバランスの推進と絡め、市内事業の意識調査を検討中。 引き続き、国や県が作成する労政事業に係る啓発物の掲出に努める他、ハローワークとの協調関係を深め、双方向での周知に努めたい。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	産前休暇取得予定者説明会の実施（年5回開催，対象職員及びその配偶者対象） 出産・育児に係る各種休暇・休業制度周知 「育MEN応援プラン」周知	人事課
具体的評価内容	各種休暇休業制度については，取得率が向上した。 平成28年度の出産・育児に係る各種休暇・休業制度の利用状況（男性職員） ・育児休業 1人（前年度1人） ・出産補助休暇 31人（前年度28人） ・育児参加休暇 21人（前年度11人） ・子供休暇 169人（前年度148人）	
継続的課題や改善点	育児に関する男性職員の理解と意識啓発を図るための取組を進める。	
平成29年度 予定事業	・所属長向けの産育休予定者面談マニュアルの作成 ・復職後の職員を対象とした研修（H30年度～実施）の準備 ・育児短時間勤務制度に係る調査・研究	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	学生など若年世代に向けた啓発事業を検討した。	男女共同 参画セ ンター
具体的評価内容	具体的，事業実施に向けて，啓発事業の内容を検討している。	
継続的課題や改善点	効果的な啓発事業の実施に向け，継続的に検討をしている段階。 協働推進課で行っている大学連携事業などと絡めた事業実施を模索している。	
平成29年度 予定事業	大学と連携するなど，若年世代への男女共同参画啓発事業の検討・実施を予定。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	男女共同 参画セ ンター
具体的評価内容	・評価なし	

継続的課題や改善点	就業状況の把握については、市民意識調査や企業に向けたアンケートなどで現状を把握必要があるため、計画的に調査を実施する必要がある。
平成29年度 予定事業	女性の就業状況の把握については、引き続き調査・研究を継続する必要があるが、平成29年度はワーク・ライフバランスに向けた、市内中小企業の意識調査アンケートを実施予定のため、うまくそれに絡め、女性の就業状況把握にかかる設問をいれるなど設問内容を工夫したい。

(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

施策：1 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実

番号 49

講座、シンポジウム、イベントの実施

男女共同参画の視点の重視

男性や若年者に向けた啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	施策8の事業内容のとおり講座を実施したほか、男女共同参画フォーラムにて講談師による講演会や多様なテーマでフォーラム参加団体による分科会を開催した。	男女共同 参画セ ンター
具体的計画内容	フォーラムでは講談界初の女性真打による「講談で語るワーク・ライフバランス」を実施。わかり易く好評であった。	
継続的課題や改善点	施策49については、男性や若年者に向けた具体的啓発が不十分に感じられるため、具体的な事業実施を引き続き検討していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	課題を活かし、平成29年度は協働推進課の大学連携事業と絡め、学生との事業連携および男女共同参画の推進として学生のカリキュラム（男女共同参画社会についての調査研究と発表）の支援を実施。	

番号 50

広報紙等による啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画フォーラムのイベント掲載記事と絡めた、広報紙への効果的な記事の掲載を行った。 センターの開館にあわせ、センターホームページの整理と充実を図った。	男女共同 参画セ ンター
具体的計画内容	5月14日の男女共同参画センター開館にあわせ、周知や効果的な記事の掲載を行った。	
継続的課題や改善点	引き続き、効果的な周知を図り、男女共同参画の啓発とあわせて、センターの認知度があがるような効果的な掲載を行っていく。	
平成29年度 予定事業	センターホームページ「参画EYE」の一層の充実を図る。	

男女共同参画週間における啓発の推進

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画センター窓口にて、男女共同参画週間にパープルリボンキャンペーンを実施。同時に啓発ポスター等の掲示を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	新たに開設したセンターの周知も兼ね、センター前で啓発キャンペーンを実施したことは効果的であり、ワンストップ効果があった。	
継続的課題や改善点	継続して男女共同参画週間の啓発事業を行うことで、「男女共同参画週間」というものから周知して認知度をあげる必要がある。	
平成29年度 予定事業	男女共同参画週間にパネル展示など啓発キャンペーンを実施予定。最終日の11月25日には男女共同参画フォーラムを実施予定。	

女性差別撤廃条約，男女共同参画社会基本法，女性の活躍推進法，育児・介護休業法，DV防止法等各種法律や制度の周知

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画センターHP「参画EYE」にて掲載している。	男女共同 参画セン ター 関係部署
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	引き続き、掲載内容の精査と最新情報の提供を実施していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	

法制度に関する学習機会の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	各種講座や講演会，イベント実施時に法制度や法改正についての内容に触れ，実施した。	関係部署 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	講座や講演会などでは，最新の情報提供だけでなく，男女共同参画の歴史的背景をふまえた内容で実施することができた。	
継続的課題や改善点	特に法改正などについては，正しく新しい情報提供を行う必要があるため，今後もそうした機会の充実に努める。	

平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	
----------------	------------	--

番号 54

男女平等に関する意識調査の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・ 未実施	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・ 評価なし	
継続的課題や改善点	平成26年に市民意識調査を実施し、調査結果をまとめているが、平成28年4月から第三次男女共同参画推進計画がスタートし次回見直し（平成31年）に向け、再度、市民意識調査が必要だと考えている。	
平成29年度 予定事業	大きな市民意識調査をとりまとめる予定は無いが、第三次男女共同参画推進計画の初回実績報告のとりまとめにあたり、パブリックコメントなどを通じて市民意識の把握を行う。	

番号 55

男女別統計（ジェンダー統計等）の推進・情報収集・公表

		担当課
平成28年度 実施事業内容	実績報告の作成にあたり、特に女性活躍推進などの観点からも女性の登用などについて注視しながら情報収集をおこなった。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	実績報告作成などにあたり、性差別に配慮しながら、男女共同参画の促進および女性活躍における男女別統計の作成や情報収集を実施した。	
継続的課題や改善点	性差別の観点から、アンケート調査などにおいて男女の設問を控える傾向にあるため、配慮や工夫が必要。	
平成29年度 予定事業	引き続き、性差別に配慮しつつ、男女別統計等の情報収集を行っていく。	

施策：2 社会制度・慣行の見直し

番号 56

社会制度・慣行の調査研究

		担当課
平成28年度 実施事業内容	内閣府や県の情報共有のほか、独自に男女共同参画に係る社会情勢を新聞メーカーなどをし、調査研究をおこなった。	男女共同 参画セン ター

具体的評価内容	各社新聞や冊子の男女共同参画に係る記事をマーカーし、課内閲覧することで、社会の制度や動向など情報更新をしながら担当者の知識向上に努めた。	
継続的課題や改善点	社会制度や各社企業などの取り組みなど、男女共同参画に係る動向は日々変化をしているため、公的機関の動向調査に特化することなく、国内外の社会の動向について継続的に調査研究をおこなっていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成28年度同様、継続的な調査研究を行っていく。	

(6) 男女平等教育の推進

施策：1 家庭教育における男女平等意識の啓発

番号 57

家庭教育学級等の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	「家庭教育支援事業」として市内の学校で保護者やPTAが中心となってみんなの子育て広場という学習の機会を設けた。	関係課 (生涯学習課)
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	男女平等意識の啓発に特化したテーマでは実施していないため、今後、それに係るテーマ設定で実施する機会をつくるなど関係部署と内容等について調整していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	・検討中	

番号 58

広報紙等による啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	柏市の男女共同参画についての出前講座を登録し、依頼があった場合には随時実施可としている。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	DVに係る出前講座依頼があったため、担当職員が男女共同参画の視点を織り交ぜ、講座を実施した。	
継続的課題や改善点	引き続き、適宜、依頼による出前講座を実施するほか、効果的な広報を検討していく。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	

施策：2 保育園・幼稚園における男女平等教育の推進

番号 59

一人ひとりの個性を尊重した教育・保育

		担当課
平成28年度 実施事業内容	【保育所保育指針第1章4保育所の社会的責任（一）保育所は、子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行わなければならない。】就学前の子どもは、その育ちの中で個性を作りつつある過程と考える。一人ひとりの人格を尊重し保育・教育を行う。	保育運営課
具体的評価内容	子どもの人格を尊重した保育を行っている。	
継続的課題や改善点	保育所の社会的責任として、「子どもの人格を尊重した保育を行うこと」としている。	
平成29年度 予定事業	引き続き実施予定。	

番号 60

保育士を対象にした研修会の開催

		担当課
平成28年度 実施事業内容	保育運営課主催認可保育園保育士対象研修（全18回 1, 147名） 保育運営課主催公立保育園保育士・職員研修（全7回 511名） 保育所保育指針に基づき、一人ひとりを大切にする保育について、外部講師・保育運営課内部講師による研修を実施。	保育運営課
具体的評価内容	各階層（経験別）研修や、分野別の研修を行う。各園から代表者（1～2名）が出席。研修後、自園で伝達講習を行い実践。保育士の資質向上に努める。	
継続的課題や改善点	認可保育園・認定こども園の新設や、公立保育園職員の定年退職者に伴う新規採用職員の増加により、経験年数の少ない保育士が増えている。今後、研修の充実が求められる。	
平成29年度 予定事業	平成29年に【保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領】が告示された。30年度にスムーズな施行となるよう、29年度中に周知する。	

番号 61

幼稚園における男女平等意識の啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	講座や啓発イベント実施の際には、幼稚園協会に協力を仰ぎ、周知等を行った。	
具体的評価内容	毎月ある幼稚園協会の全体会議にあわせ、イベント案内やパンフレットの提供を実施し、男女共同参画の意識づけや啓発に努めた。	

継続的課題や改善点	幼稚園協会や幼稚園教諭の研修機会については、男女共同参画センターでは把握困難であるため、幼稚園における男女平等意識の啓発実施については今後検討が必要。	男女共同参画センター
平成29年度 予定事業	平成28年同様、引き続き情報提供等実施予定。ほか、要検討。	

番号 62

隠れたカリキュラムの点検、見直し

		担当課
平成28年度 実施事業内容	性別にとらわれず個性が伸ばせる保育を実施する。	保育運営課
具体的評価内容	男女の区別なく、個性を大切にする保育をおこなっている。	
継続的課題や改善点	社会的性別意識を助長しないように努めている。	
平成29年度 予定事業	性別にとらわれず一人ひとりを大切にする保育を継続実施する。	

施策：3 学校における男女平等教育の推進

番号 63

性別にとらわれない教育の推進

		担当課
平成28年度 実施事業内容	学校における人権尊重教育の理念等を学び、人権尊重教育の一層の充実を図るために、「学校教育における性的マイノリティー（LGBT）への理解と対応への手がかかりについて」というテーマで研修を行った。	生徒指導室
具体的評価内容	平成28年度、はじめて性的マイノリティーに関する研修を行い、市内教職員70名が参加した。人権教育担当の教員以外にも多くの参加があった。さらに教職員のみならず人権擁護委員や行政関係者、法務関係者等の参加もあり、計100名となった。	
継続的課題や改善点	社会全体で性的マイノリティーへの関心が高まる中、次年度以降、さらに研修の規模を拡大する必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成29年度から3年間で、柏市のすべての教職員を対象に、性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒の理解のための研修を実施する。「自殺念慮の割合が高いことが指摘されている「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒」について、無理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉えて、教職員の理解を促進する。」（内閣府「自殺総合対策大綱」）を踏まえ、教職員に周知する。	

	児童生徒が相談しやすい環境を構築するため、図書室や保健室に関連図書を整備する。また、児童生徒への指導及び理解のための指導教材等の研修を進め、人権教育を推進する。	
--	--	--

番号 64

副読本・教材等の作成・活用方法の検討 教職員に対するアンケート調査の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	番号：63と同時進行	生徒指導室 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容		
継続的課題や改善点		
平成29年度 予定事業		

番号 65

教職員対象の男女平等教育研修の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	番号：63と同時進行	生徒指導室
具体的評価内容		
継続的課題や改善点		
平成29年度 予定事業		

番号 66

多様な生き方を選択できる進路指導

		担当課
平成28年度 実施事業内容	啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を市立各小中学校に配付することにより男女平等教育の啓発を図った。	生徒指導室
具体的評価内容	啓発資料の中で、男女平等教育の基本となる人権感覚の必要性や、人権尊重の精神に立つ学校・学級経営といった今後の課題を明確にすることができた。 全市立小中学校の教職員に、男女平等教育における柏市の現状と学校で実践するべき取り組み内容を周知することで、進路指導にもつなげることができた。	

継続的課題や改善点	学校や学級が人権意識に満ちた場となり、男女平等を念頭に置いた教育活動が行われるよう啓発活動を行う。
平成29年度 予定事業	啓発資料「柏市『男女共同参画を目指す教育』」の内容を見直し、市立各小中学校に配付することにより男女平等教育の啓発を図り、進路指導についても、児童生徒が多様な選択ができるようにする。 人権尊重教育研修会（8月24日）において、教職員への啓発活動を継続する。

番号 67

隠れたカリキュラムの点検、見直し

		担当課
平成28年度 実施事業内容	啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」で、隠れたカリキュラムの点検と見直しについて例を挙げて示すとともに、「柏市男女平等教育実践事例集」の活用を呼びかけた。	生徒指導室 男女共同参画センター
具体評価内容	全市立小中学校の先生に、啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を配布することによって、「隠れたカリキュラム」の再確認をするとともに、日常の学校生活における見直しの必要性を周知することができた。	
継続的課題や改善点	今後も男女の固定観念にとらわれず、一人一人の個性が発揮できる学校・学級作りのために、「隠れたカリキュラム」の見直しを続けるよう、啓発活動を行う。	
平成29年度 予定事業	「隠れたカリキュラム」について、初任者研修の「道徳教育」の場において、「柏市男女平等教育実践事例集」の内容を説明し、活用を依頼する。 各学校における日常の教育活動の中で、「隠れたカリキュラム」の点検と見直しを進めるよう、啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」に盛り込む。	

施策：4 社会における男女平等に関する生涯学習の推進

番号 68

男女平等に関する学習資料・情報の提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	関連資料の収集、貸出し。 男女共同参画センター主催「2017柏市平和展」での展示のための図書資料およびブックリストの提供を行い事業に協力した。	図書館 男女共同参画センター
具体評価内容	資料のジャンル、対象、注意事項等を提示していただき、希望に沿った対応ができ、課題解決支援へとつながった。	
継続的課題や改善点	図書の展示を通して地域の課題解決支援を実施するため、各課の事業案内やPR、イベントや講演会関連の企画の提供依頼を行う。	
平成29年度 予定事業	男女共同参画週間に合わせた企画展示 関連資料の拡充	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	青少年教育，成人教育，家庭教育，高齢者教育及び地域づくり事業に関する110講座を実施し，延べ参加者は8,291人であった。	中央公民館
具体的評価内容	青少年教育事業では，工作教室や冬のクリームシチューづくりで男女を問わず学習機会を提供。 成人教育事業では，男性の料理教室の実施。高齢者教育事業，地域づくり事業では，健康に関する講座，パソコン講座，歴史文化に関する講座などを実施し，男女を問わず学びあい交流し，市民生活の向上が図れた。 家庭教育事業では男親女親に関わらず親子のふれあいやコミュニケーションの向上が図れた。	
継続的課題や改善点	成人男子の参加は少ないので，より身近な近隣センターでの講座展開や周知・宣伝の拡充など事業の充実を図っていく。	
平成29年度 予定事業	子ども体験教室では，ちびっこダンスパフォーマンスとして男児女児を問わず，リズム感にのった楽しく体験できる講座の実施。 家庭教育講座では，男性家族なども含めて働くママを幸せにするためのヒントを学ぶ講座を実施。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	各担当部署において，講座等を実施する際には，より多くの人に参加できるよう，平日昼間以外でも開催時間や曜日（夜間や休日含む）を工夫して実施した。	総務課
具体的評価内容	講座のテーマや内容，対象者によって，参加しやすい時間帯や曜日が異なるため，それらを意識した企画をすることができた。	
継続的課題や改善点	企画日程を多様化することで，担当職員の業務負荷も生じることが不可欠であるため，各課内で調整が必要。	
平成29年度 予定事業	平成28年同様，各担当部署において実施予定。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画センターでは，講座開催時などに未就学児に限り保育を実施した。介護サービスの充実においては未実施。	

具体的評価内容	子育て世代の講座受講者を増やすため、こどもを預けて、安心して講座受講をしてもらえるよう環境を整えた。	関係部署 (男女共同参画センター、高齢者支援課)
継続的課題や改善点	他部署の講座実施においても、保育ありの講座を増やしていくことで、若い世代の学習や啓発機会の増加につながると考える。一方で、介護サービスについては、男女共同参画の視点をもった介護にかかる出前講座の実施はしているが、講座開催時に介護サービスをつけるのは現状困難であり、検討が必要。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	

番号 72

学習プログラムと情報提供の充実 らんらんかしわ

		担当課
平成28年度 実施事業内容	大学・民間企業を含めた広範囲にわたる生涯学習情報をらんらんかしわに掲載した。また、掲載情報をもとに「生涯学習ガイド」及び「生涯学習ボランティア登録者名簿」を発行した。	生涯学習課 関係部署
具体的評価内容	閲覧者のアクセシビリティ・ユーザビリティ等の向上のため、柏市オフィシャルウェブサイトとの統合を行い、市のHPのトップページかららんらんかしわのイベント情報を閲覧できるようにした。 新システムへの移行に伴い、システムの操作説明会を行い、利便性の向上に努めた。	
継続的課題や改善点	市内・近隣の生涯学習情報の収集を継続、充実させていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	引き続き、らんらんかしわの管理・運営を行うとともに、掲載情報をもとに「生涯学習ガイド」及び「生涯学習ボランティア登録者名簿」を発行し、インターネットを利用しない方への周知も行う。	

(7) 人権の尊重

施策：1 心の健康支援の充実

番号 73

悩みをかかえる人のための相談窓口の紹介・情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	広報掲載や各課で配架しているパンフレット、柏市保健福祉総務課発行の「あなたが困った時・・・相談窓口」の冊子を活用するなど、適宜、要支援者、相談者に対し適切な相談窓口への案内を実施した。	男女共同参画センター 福祉活動推進課 保健予防課 関係部署
具体的評価内容	1つの相談に対し、適切な窓口につなげたり、また年齢や状況、家族構成などによっても支援窓口が異なるケースもあることから、関係部署と連携しながら適切な窓口につなげることができた。	
継続的課題や改善点	相談窓口は多岐にわたるため、相談者に対し適切な支援ができるよう引き続き、スムーズな案内や情報提供に努める必要がある。	

平成29年度 予定事業	引き続き、広報への掲載や、各課での相談窓口の案内や情報提供を実施する。	
----------------	-------------------------------------	--

番号 74

心の健康についての理解の促進

		担当課
平成28年度 実施事業内容	①精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。 ②11月12日アルコール健康障害の理解に関する市民講座：（専門病院医師による講演・関係機関によるパネルトーク）参加者数74人、 9月3日すいみんの日講座：参加者数250人 ③こころの病について等の出前講座：11回開催・参加者数232人 ④ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、現在活動しているボランティアのスキルアップ研修として、11月12日市民講座・11月25日精神疾患の理解のための講座：参加者数18人	保健予防課
具体的評価内容	講座参加者数	
継続的課題や改善点	市民講座は、今後も関係機関と連携をした開催が必要。出前講座の周知強化が必要。	
平成29年度 予定事業	①精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。 ②市民講座・すいみんの日講座開催予定。 ③出前講座実施 ④ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、ボランティアフォローアップ研修実施予定。	

番号 75

自殺予防のための啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	ゲートキーパー養成研修（引きこもり編）の開催 無料相談事業（電話相談・対面相談） 自死遺族支援事業（「わかちあいの会ひだまり」の開催、自死遺族支援事業公開講演会の開催） 心と健康と自殺予防を考えるメンタルヘルスシンポジウムの開催	保健福祉 総務課 関係課
具体的評価内容	無料相談の件数が、平成27年度の122件から平成28年度は254件に増加した。柏駅東口駅前にパンフレットを配架するなど、広報活動の充実にも努めたことが要因と考えられる。 「わかちあいの会ひだまり」への参加人数が、平成27年度の延べ38名から延べ77名に増加した。会場をウェルネス柏からアミュゼ柏へ変更し、アクセスしやすくなったことが要因と考えられる。	
継続的課題や改善点	多くの自殺は様々な悩みにより心理的に「追い込まれた末の死」である。様々な要因に対する社会の適切な介入により「多くの自殺は防ぐことができる」という基本認識を市民一人ひとりが持てるよう、継続した普及啓発を進めていく。	

平成29年度 予定事業	ゲートキーパー養成研修（不登校編）の開催 無料相談事業（電話相談・対面相談） 自死遺族支援事業（「わかちあいの会ひだまり」の開催、自死 遺族支援事業公開講演会の開催） 青少年自殺防止ミュージカルの開催	
----------------	--	--

番号 76

相談窓口等の情報発信

		担当課
平成28年度 実施事業内容	センターで行っている「女性のこころと生き方相談」について案内チラシを作成・配架し周知している。 複合施設内にセンターが開館したため、窓口を活かし、各種相談窓口の情報提供を行っている。 ①関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載，市民講座や出前講座等での紹介 ②精神科医師によるこころの健康相談を年間42回（相談65件・訪問4件）実施。 ③精神保健福祉士・保健師による相談（面接961件・訪問675件・電話7570件）実施。 （性や性別に関する悩み相談件数の再掲はしていない）	男女共同 参画セン ター 保健予防 課 関係諸 課
具体的評価内容	センターの場所も良く、ワンストップ的機能が定着してきている。 また、他の用件で、パレット柏に来館した方が、センターの案内を見て相談に声をかけられるなどといったことが増えている。 相談・訪問・電話件数	
継続的課題や改善点	引き続き、センターの認知度を高めていくことで、効果的な情報発信につながっていくと考える。一方で男性からの相談希望の問い合わせもあるため、今後検討をしていく必要がある。 悩みをかかえる人のための相談窓口を更に広く周知する必要性がある。相談内容が多様化しているため、関係機関とより連携を図りながら、迅速かつ安全に対応する必要がある。また、相談実施後のフォロー強化が必要。	
平成29年度 予定事業	夜間相談（毎月第二木曜日）の新規実施。 ①関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載，市民講座や出前講座等での紹介 ②精神科医師によるこころの健康相談を年間48回実施予定 ③精神保健福祉士・保健師による随時相談継続 （性や性別に関する悩みと表してはしない）	

番号 77

性や性別の悩みに関する情報の収集

		担当課
平成28年度 実施事業内容	男女共同参画フォーラム分科会のなかで、LGBTについてとりあげ、情報の収集と提供の機会を設けた。 センターで管理している図書コーナーへの図書の充実を図った。 相談窓口で相談があった際などは適宜、関係機関を紹介した。 他市や県の会議などに出席し各市の取り組みなど情報交換を行った。	男女共同 参画セン ター 関係諸 課

具体的評価内容	情報の収集だけでなく、情報提供につなげることができた。	
継続的課題や改善点	性や性別の悩みについては、年々、柔軟な対応の必要性が高まっている。また若年世代にも大きく影響しているため、学校関連の部署とも連携して情報収集などに努める必要がある。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様に事業の実施をするほか、近隣各市の対応の動向なども注視していく。	

施策：2 人権に関する啓発とメディアにおける人権への配慮

番号 78

セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた情報発信

		担当課
平成28年度 実施事業内容	国や県、労働基準監督署などにおいて作成される啓発物（ポスターやチラシ）について、情報提供に応じて適宜庁内への配架・掲出に努めた。 男女共同参画センターHP「参画EYE」にてセクハラに対する厚生労働省のリンクページを紹介している。	商工振興課 男女共同参画センター
具体的評価内容	労働政策上の強化月間（週間）に合わせて作成されるポスター類を庁内へ掲出することで来庁者に対する周知啓発を行っている。 センターの立地を活かし、多層のパレット柏の来館者に対し、発信している。	
継続的課題や改善点	来庁者だけでなく、市内事業者への周知が十分でないことから、今後は直接あるいは商工会議所などを通じた啓発に努めたい。 来館者だけでなく、商工振興課などを通じ、市内事業者に向けた啓発に努めたい。	
平成29年度 予定事業	労働政策に係る周知状況について、商工会議所などの実情を把握した上で、連携策を検討する。 引き続き、セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた啓発を実施するほか、相談窓口としての機能の周知にも努める。	

番号 79

職員のセクシュアル・ハラスメントに関する窓口の継続設置

		担当課
平成28年度 実施事業内容	職員対象のセクハラ相談窓口における対応 平成29年度相談件数 0件	人事課
具体的評価内容	窓口での相談又は苦情の処理、苦情処理委員会での審議の手続等においては、男女共同参画、特に女性の人権への配慮を行うよう措置を講じている。	
継続的課題や改善点	相談又は苦情処理の窓口の設置を含め、セクシャル・ハラスメントに係る要領及び指針に基づく制度について、職員に周知を図っていく。	

平成29年度 予定事業	窓口の継続設置 研修等の機会における窓口の周知	
----------------	----------------------------	--

番号 80

性に起因する人権侵害に関する啓発事業の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	県の助成金を活用し啓発グッズの作成とそれを用いた啓発活動や広報での相談窓口等の情報提供を行った。	男女共同 参画 セ ンター
具体的評価内容	人権に係る担当課の広報広聴課と連携し、広報に相談窓口の案内を掲載したり、人権侵害に係る啓発の促進を図った。	
継続的課題や改善点	性に起因する人権侵害のケースは多岐にわたるため、総合的な啓発事業の実施は難しい。各分野や関係課と協力して啓発を促していくことが必要。	
平成29年度 予定事業	県の助成金を活用した啓発グッズの作成とそれを用いた啓発活動を実施する。	

番号 81

国際交流センターの整備等、外国人のための相談窓口の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	平成28年5月に、常時英語による対応が可能な柏市国際交流センターを開設した。 ・市の外国人相談窓口は、英語（木曜日）、中国語（水・金曜日）、スペイン語（水曜日）、韓国語（第2・4金曜日）に実施。	協働推進 課
具体的評価内容	在住外国人の日常生活や市政に関する相談を行った。平成28年度の市の外国人相談窓口の相談件数は126件。	
継続的課題や改善点	ベトナムの在住外国人が増加しているなかで、ベトナム語の通訳・翻訳者がいない。今後検討が必要。	
平成29年度 予定事業	外国人相談事業を継続実施。 市の韓国語の外国人相談窓口は、第2・4木曜日に変更。	

番号 82

広報・出版物等における男女平等の視点に立った表現の使用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	広報・出版物等の表現だけでなく、市のホームページにおいても、女性・男性双方に配慮し作成を行った。	広報広聴 課 関係課
具体的評価内容	ジェンダーに関するクレームは特になし。	

継続的課題や改善点	推進計画に基づき、さらに女性・男性双方に配慮した表現の見直しを推進していく。	
平成29年度 予定事業	引き続き広報・出版物・ホームページ等の掲載内容について、女性・男性双方に配慮し作成を行う。	

(8) 性差に配慮した健康支援

施策：1 性差に配慮した健康支援

番号 83

妊産婦の健康診査、相談及び指導

		担当課
平成28年度 実施事業内容	妊娠届出により母子健康手帳及び母子健康手帳別冊（妊婦健康診査受診票）を渡している。14回分の妊婦健診の公費助成（一部自己負担あり）により、妊婦の経済的負担を軽減している。 母子健康手帳交付時に、本庁、沼南、ウェルネス柏では保健師等の専門職による面接を行い、妊婦健診受診票の説明や必要性を伝えると共に妊婦への相談及び指導を行っている。また必要に応じて継続的な相談支援に努めている。 【内容】母子健康手帳交付時に制度の説明、保健指導を実施。	地域健康 づくり課
具体的評価内容	妊婦健診の公費助成により、妊婦全体の経済的負担の軽減につながると共に、経済的理由で妊婦健診を控えていた妊婦が健診を受けやすくなった。 母子健康手帳交付時に、保健師等の専門職による面接を行うことにより、妊婦健診受診票の説明や必要性を伝えると共に、妊婦への相談及び指導が実施できた。	
継続的課題や改善点	母子健康手帳交付時の保健師等による全数面接ができておらず、平成29年度に妊娠子育て相談センター（3箇所）を整備し、母子健康手帳交付時の全数面接を行い、相談体制を強化する。	
平成29年度 予定事業	妊婦健康診査は継続実施。 妊娠子育て相談センター（3箇所）を整備し、母子健康手帳交付時の保健師等専門職による全数面接を実施し相談体制を強化する。	

番号 84

女性の健康管理に関する講座等の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	地域健康講座 1 女性のからだについて 参加者8人 産後うつ・更年期障害・ベビーマッサージ・乳がん等について助産院を講師による講座を実施 2 産後のママのからだケア 参加者30人 産後のからだを快適にする体操や、抱っこひもの正しい使い方について理学療法士を講師に講座を実施。参加者26人 3 女性の健康について(柏市民健康づくり推進員対象の内部研修) 女性ホルモンの減少に伴う身体の変化、骨粗しょう症について保健師が講話	地域健康 づくり課

具体的評価内容	母親は産後育児が中心となり、自身の健康管理がおろそかになってしまうことが多い。講座を受けることで、自信の健康について考える機会とすることができた。 女性の年齢的による体の変化を学び、柏市民健康づくり推進員が自身の健康管理に気をつけることができる。また、地域の活動を通して情報を発信することができる。
継続的課題や改善点	地域健康講座はテーマが固定されていない為、継続した事業とはならない。
平成29年度 予定事業	平成29年度は地域健康講座として、産後ママのからだケアを1回予定している。

番号 85

**女性のための各種健康診査，子宮頸がん対策，乳がん対策，
性差医療の情報提供等の充実**

		担当課
平成28年度 実施事業内容	女性特有のがん検診（乳がん検診，子宮頸がん検診）の実施。 乳，子宮頸がん集団検診では，保育の日を設け，（臨時）保育士を配置し，子育て中の女性にも受けやすい体制とした。 特定の年齢に該当する女性に，乳がん，子宮頸がん無料検診を実施。 平成28年度より，40歳から70歳までの5歳刻みの女性を対象に，新たに骨粗しょう症検査事業を開始。 女性の健康づくりリーフレットを作成し，イベント等で配布。 地域健康講座 1 女性のからだについて 参加者8人 産後うつ・更年期障害・ベビーマッサージ・乳がん等について助産院を講師による講座を実施。	成人健診課 地域健康づくり課
具体的評価内容	子育て中の女性にも受けやすい体制を整えてきたこと，若い世代への啓発活動を強化，個別勧奨通知等を実施してきた結果，女性のがん検診受診者数の増加に繋げることができたと考える。 平成28年度より開始した骨粗しょう症検査は，対象者の25.8%，4,898人が受診し，当初想定した受診者数を大幅に上回った。 母親が自身の健康について考える機会となる。	
継続的課題や改善点	「保育の日」の利用者増加により，利用者の安全確保に課題がでてきたことから，平成29年度より，乳がん，子宮頸がん集団検診の全日程で対応できるようにした。 地域健康講座はテーマが固定されていない為，継続した事業とはならない。	
平成29年度 予定事業	継続的实施。 平成29年度は地域健康講座として，産後ママのからだケアを1回予定している。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・がん、HIV、喫煙、熱中症等の最新の情報提供 ・外部講師による薬物乱用防止教育 ・たばこの煙の害を学習する「ノースモッ子教育」の推進 ・ジュニア救命士養成講習（「命を大切にする」という観点により平成25年度から本格実施となった小学生対象の救急法出前授業）	学校保健課
具柏市評価内容	関係機関と連携を図り、最新の情報を学校に発信できた。「ジュニア救命士講習」は、平成24年度にモデル校10校で施行し、平成25年度から本格運用。年々希望する学校が増え、28年度は該当校42校中40校が実施。	
継続的課題や改善点	「ジュニア救命士講習」は、全校が希望（未実施2校：1校は台風の為に中止、1校は希望日の調整がつかず未実施）国の施策でもある、中学校における薬物乱用防止教室を推進していく。	
平成29年度 予定事業	・感染症の状況をタイムリーに学校へ発信していく。 ・養護教諭や保健主事研修会において、指導実践等の情報交換の場を設定する。 ・他機関との連携を図り、「危険ドラッグ」を含めた薬物乱用防止教育を推進していく。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	①精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。 ②11月12日アルコール健康障害の理解に関する市民講座：（専門病院医師による講演・関係機関によるパネルトーク）参加者数74人、9月3日すいみんの日講座：参加者数250人 ③こころの病について等の出前講座：11回開催・参加者数232人 ④ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、現在活動しているボランティアのスキルアップ研修として、11月12日市民講座・11月25日精神疾患の理解のための講座：参加者数18人 地域健康講座 こころの健康「さあはじめよう！心と体の健康づくり」 ストレスとの上手なつきあい方 参加者数30人 精神科医師による講話を実施 保険予防課と連携し、啓発の促進をした。	保健予防課 地域健康づくり課 男女共同参画センター
具柏市評価内容	講座参加者数 メンタルに関する講座を、講師が分かり易く説明したことで、参加者の理解を促すことができた。 うつや更年期、依存症など健康に関する直接的な情報の発信は担当課となるため、担当課への働きかけをすること、またはセンターの来館者に向け情報提供を行った。	

継続課題や改善点	市民講座は、今後も関係機関と連携をした開催が必要。 出前講座の周知強化が必要。 地域健康講座はテーマが固定されていない為、継続した事業とはならない。 健康に関する講座の実施をしている部署など、関係機関との連携が必須であるため、周知など協力して行っていく必要がある。	保健予防課 地域健康づくり課 男女共同参画センター
平成29年度 予定事業	①精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。 ②市民講座・すいみんの日講座開催予定 ③出前講座実施 ④ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、ボランティアフォローアップ研修実施予定 平成29年度は未定。（地域健康づくり課） パレット柏やセンターを利用し、関連部署の実施講座などの周知を図っていく。	

番号 88

HIV／エイズ・性感染症に関する感染予防・まん延防止のための 検査・相談事業及び啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	①HIV等抗体検査相談の実施（日中・夜間・休日等年間24回実施、受検者数633件） ②検査普及週間、世界エイズデーにおける啓発活動、街頭キャンペーンの実施（日立グラウンド、ショッピングモール等で実施） ③青少年への性教育の実施（市内高等学校、サポート校等5校実施） ④教育関係者を対象としたエイズ対策研修会の実施 ⑤思春期保健会議への参画（年2回）	保健予防課
具体的計画内容	検査・相談件数、性教育の実施回数	
継続課題や改善点	・啓発活動を充実させ、多くの人々へ正しい知識の周知を図る。 ・休日検査、夜間検査を引き続き実施し、受検者数の向上に努め、感染者の早期発見、早期治療に努める。 ・個別施策層に対して、充実した知識の啓発が行えるよう関係機関と連携し、多方面からアプローチを行う。	
平成29年度 予定事業	①HIV等抗体検査相談の実施（日中・夜間・休日等年間24回実施） ②検査普及週間、世界エイズデーにおける啓発活動、街頭キャンペーンの実施（日立グラウンド等予定） ③青少年等の個別施策層へ性教育を含めた啓発活動の実施 ④教育関係者を対象としたエイズ対策研修会の実施 ⑤思春期保健会議への参画（年2回）	

施策：２ 性と生殖の健康・権利に関する啓発

番号 89

広報紙等による情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	- 各講座やイベントの告知，相談窓口について広報かしわに掲載したほか，センターホームページ「参画EYE」にもあわせてそれらの告知や実施報告を掲載した。 - また，男女共同参画推進審議会の会議録についてもホームページに掲載した。	男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	- 男女共同参画センターの開館にあわせ，従来のHPを整理し，より見やすいページの作成を行った。 - 広報かしわやホームページのみでなく，センター窓口横の掲示板を活用し，他市の情報も含め男女共同参画推進に係る情報提供を行った。	
継続的課題や改善点	- 引き続きイベントや講座の周知・情報提供を継続していく。 - HP「参画EYE」の掲載内容の充実を図っていくことが課題。	
平成29年度 予定事業	複合施設内という立地を活かし，新たに男女共同参画啓発パネルを購入し，展示などすることで，市民の目にふれる機会をふやし啓発を行う。	

番号 90

学校における性教育の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	- 柏市独自の教材「生と愛と性」の活用と啓発 - 医師や助産師による性教育の実施	学校保健 課
具体的計画内容	赤ちゃん抱っこや，妊婦ジャケットによる妊婦体験などを通し，命の大切さを学ぶことができた。専門的意識を持った外部の人材を活用し，効果的に指導することができた。	
継続的課題や改善点	専門的知識を持った外部関係機関と連携した取り組みをさらに推進するとともに，「生と愛と性」を活用した学習をさらに充実させ，保護者への啓発を図っていく。	
平成29年度 予定事業	他機関とも連携し，思春期保健教育を推進していく。	

番号 91

家庭における性教育を支援する学習機会の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	市内小学校20件（校）で助産師による「命の授業（性教育）」を実施し，こどもを対象としただけでなく保護者にも学習機会を設けた。	関係署 （生涯学 習課）
具体的計画内容	保護者も一緒に学ぶ機会を作ることで，家庭での学習機会につなげることができた。	

継続的課題や改善点	引き続き、保護者も一緒に考える機会を作っていくことが家庭での学習機会につながると考える。
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様

(9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶

施策：1 被害者の支援

番号 92

相談窓口の充実

母子・父子自立支援相談、法律相談、人権相談の継続と女性のこころと生き方相談の拡充の検討

		担当課
平成28年度 実施事業内容	第1・3火曜日、第2・4月曜日と毎週木曜日に「女性のこころと生き方相談」を実施。必要に応じて、関係課や関係機関への連携を図った。（相談件数337件） 平日9時から16時まで、母子・父子自立支援員が、電話又は面談によって、ひとり親の生活一般に関する相談や離婚に係る相談を実施した。（相談件数延べ2,084件）	男女共同 参画セン ター こども福 祉課 広報広聴 課
具柏係計画内容	・被害者支援の連携強化を図るため、適宜、関係部署の担当者と情報共有を図った。また相談ケースによって適切な支援策が検討できるよう関係部署との連携強化に努めた。 ・その他、DV対策担当課長会議、DV被害者支援連絡会議に出席したほか、相談窓口を持つ関係部署・機関との連携強化に努めた。 DVや離婚に関する相談が多く、また、精神的に困難を抱えている方々からの相談が目立つようになり、相談内容の複雑化と相談時間の長時間化が進んでいる中で、必要に応じて関係機関との連携を図りつつ相談対応を行っている。また、専門的な情報の提供を行えるよう、外部研修に積極的に参加している。	
継続的課題や改善点	・引き続き、相談者の安全や情報の保護、また、関係部署との連携強化に努めながら相談体制の充実を図っていく。 継続して丁寧な相談対応を実施する。	
平成29年度 予定事業	・同相談事業の継続的实施を行う。また、平成29年4月から、毎月第2木曜日に夜間相談（午後2時～午後8時）を新たに実施する。 ・関係課との連携強化に向けた協議を進めるとともに、女性のこころと生き方相談の他に随時入る相談に対し、より適切な対応ができるよう、関係部署との連携および職員の技術の向上を図る。 平成28年と同様に実施予定。	

番号 93

相談員の知識・対応技術の向上

		担当課
平成28年度 実施事業内容	国や県主催の担当者会議や研修会に相談員や担当者が参加し、知識向上やスキルアップを目指した。	関係課 (こども福祉課・

具体的評価内容	相談員だけでなく、特に年度当初などでは新任担当者が研修会等に参加し、基礎知識や対応について学ぶ機会を積極的に作る事ができた。	男女共同 参画セン ター)
継続的課題や改善点	引き続き、外部研修等で相談員や担当者の知識向上に努める。	
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様。	

施策番号 94

関係課・関係機関との連携強化 警察，病院，配偶者暴力相談支援センター 地域生活支援センター，NPO等

		担当課
平成28年度 実施事業内容	被害者の救済・支援において、関係各課と情報共有を図り、支援をつなぐことができた。	関係課
具体的評価内容	部署をまたぐケースや、引き継ぐ場合にも、情報共有や適宜、新しい情報交換を行うことで、シームレスな対応・支援に繋げることができた。	
継続的課題や改善点	被害者の救済・支援において、関係各課との連携は不可欠であるため、一層の連携・強化を図っていく。	
平成29年度 予定事業	庁内DV担当課ネットワーク会議など連携強化に向けた事業を実施予定。	

番号 95

DV対策ネットワークの充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・DV関係課ネットワーク会議の開催および研修の実施 ・県や近隣都市との研修会や情報交換を通じたネットワークの構築	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	・DV関係課ネットワーク会議では庁内各課に加え、柏警察や児童相談所担当者などDV対応に係る部署で情報交換や連絡体制の強化を図った。	
継続的課題や改善点	・DV対応は被害者の状況が多岐にわたるため、各課との連携が不可欠。継続的に連携強化を図っていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	・年2回のDV関係課ネットワーク会議の開催、うち1回で講師にちば女性と子どものサポートセンター代表・臨床心理士・有馬和子先生による研修会を実施。	

DV被害者の相談に関する情報収集

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・実際の加害者からの相談はなかった。 ・県や国のDV担当者会議や研修を通じて、担当職員の知識向上に努めた。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・研修などでのケースワークを通じて、加害者の心理状態や陥りやすい傾向など、知識を増やすことができ、対応の幅が広がった。	
継続的課題や改善点	・引き続き、加害者側についての知識のほか、加害者の相談に対応できるような相談先（更正プログラムなど）の情報収集をする必要がある。	
平成29年度 予定事業	・引き続き、近隣市や関係部署との情報収集を図る。 ・県や国のDV担当者会議や研修に参加し、担当職員の技能・知識向上を図る。	

広報等による情報提供

		担当課
平成28年度 実施事業内容	女性に対する暴力をなくす運動の期間にDV防止啓発キャンペーンを実施した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	パープルリボンキャンペーンと題し、広報や男女共同参画センターHP「参画EYE」で掲載・啓発したほか、センターにて啓発キャンペーン事業を実施し、若い世代にも効果的なPRを行うことができた	
継続的課題や改善点	多様な世代に向けた効果的なPRを検討していく必要がある。また、DV自体を知らない人にも少しでも知ってもらうような取り組みも必要。	
平成29年度 予定事業	平成28年同様、同期間に啓発事業を実施予定。	

緊急避難支援事業の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	母子から緊急一時避難などについて、相談支援を行った。 （相談延件数 134件） ・母子からの緊急一時避難などについて、相談支援を行った。（相談件数134件） ・高齢者虐待について、必要に応じ、関係機関と連携して老人福祉施設等に緊急一時保護をおこなった。 虐待を受けた高齢者に対し、必要に応じて関係機関との連携の下、老人福祉施設等に緊急一時保護をおこなった。	こども福 祉課 男女共同 参画セン ター 福祉活動 推進課 関係部署

具体的評価内容	DVを受けた母子からの相談を受け、緊急一時避難などの支援を行った。 相談員と職員相互の連携又は関係機関との連携を図り、対応することができた。 ・緊急の相談、事案の場合には関係機関と連携を図り、迅速に対応した。 通報があった際には関係機関と連携しながら迅速に対応した。
継続的課題や改善点	事業の実施においては引き続き関係各課との連携が不可欠。 ・緊急の相談の際は、特に関係機関との連携が不可欠であるため引き続き、情報共有と連携強化に努める必要がある。 多問題を抱え家族全体への支援が必要なケースが多いため、引き続き関係機関と連携しながら対応していく。
平成29年度 予定事業	緊急避難が必要な母子に対し、相談支援を継続する。 ・引き続き、関係各所との円滑な連携と対応に努める。 ・状況に応じて対応していく。

番号 99

施設等との連携

		担当課
平成28年度 実施事業内容	DV被害の状況と本人の避難に対する意思に基づき、緊急性がある場合に、県シェルターとの連携により迅速な避難対応を行った。また、緊急性が高くはないものの、一時的に避難したいというケースに対しては、入所可能な施設を探し、避難対応を行った。 ・DV被害の状況と本人の避難に対する意思に基づき、緊急性がある場合に、庁内関係各所、警察署、県シェルターとの連携により迅速な避難対応を行った。また、緊急性は高くないものの、一時的に品案したいというケースに対しては、入所可能な施設を探し避難対応を行った。 被害を受けた女性が一時保護施設に入った場合等において生活保護法に基づく自立支援を行った。	こども福祉課男女共同参画センター生活支援課
具体的評価内容	DV相談が増えている中で、DV被害の認識や避難に対する意思は相談者によってまちまちである。そうした中で、DVの危険性を伝え、相談者に合った避難先（施設）を探し、情報を提供することに努めた。 ・DV相談が増えている中で、相談者の状況（人間関係や子どもの有無）DV被害の認識や避難に対する意思は相談者によってまちまちである。そうした中で、DVの危険性を伝え、相談者に合った避難先（施設）を探し、情報の共有化と連携に努めた。 ・被害者支援の連携を図るため、適宜、関係部署の担当者及び一時保護施設担当者と情報共有に努めた。 ・被害者が遠方へ転居することが望ましい場合においては、他市と協議の上、速やかな生活保護事務の移管に努めた。	

継続的課題や改善点	DV相談内容の多様化に対し、あらかじめ様々な避難先をリストアップしておくことで、相談者の避難支援対応の質を高める。 ・DV相談の多様化に対し、あらかじめ様々な避難先や連携先を把握（リストアップ）しておくことで、相談者の避難支援対応の質を高める。 引き続き、関係部署との連携強化に努めながら、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。
平成29年度 予定事業	平成28年度と同様、円滑な連携に努める。 関係部署と連携を図りつつ、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。

番号 100

**被害者の自立支援
就業相談等
被害者の子どもの支援**

		担当課
平成28年度 実施事業内容	母子・父子自立支援相談へつなぎ、継続的な支援を実施した。また、シェルター避難者について、退所後の母子での生活が困難と認められるケースについては、母子生活支援施設への入所についても検討した。	生活支援課 こども福祉課
具体的評価内容	DV被害者は精神的に不安定なケースが多く、早期就労による自立支援を図ることが難しい場合が多い。そうした中で、母子・父子自立支援員が継続的な相談に応じ、必要に応じて、かしわ就労自立サポートセンターへのつなぎや、自立支援給付金等の制度案内を実施し、DV被害者の就労を促している。	
継続的課題や改善点	引き続き、相談対応と情報提供に努める。	
平成29年度 予定事業	平成28年と同様。 関係部署と連携を図りつつ、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。	

番号 101

支援措置等個人情報の保護

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・相談事業や支援措置に係る個人情報の取り扱いが多いため、常に施錠とデータファイルのロック、管理を徹底した。	男女共同 参画セン ター 関係部署
具体的評価内容	・平成28年5月から、センターが開館し、複合施設内に位置していることもふまえ、センター内のレイアウトや収納方法の工夫に努めた。	
継続的課題や改善点	・継続して個人情報管理を徹底していく。	
平成29年度 予定事業	・継続して個人情報管理を徹底していく。 ・関係課との連携の際にも個人情報の取り扱いについて徹底をする。	

施策：2 被害者・加害者を生まない教育

番号 102

シンポジウム、情報紙等による啓発

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・第24回男女共同参画フォーラムの開催 ・センターのオープニングイベントでの啓発 ・センターHP「参画EYE」への情報掲載・周知	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・フォーラムでは男女共同参画の視点で、講談会初の女流真打による講談を実施。また同日開催の分科会では様々なテーマをとりあげ参加総数は99名であった。 ・5月14日のパレット柏オープニングイベントにあわせ、男女共同参画の啓発を行った。参加者数170名であった。	
継続的課題や改善点	・引き続き、フォーラムなどを実施し、啓発を行っていく。独自の情報紙の発行については検討をしていく。	
平成29年度 予定事業	・第25回男女共同参画フォーラムの開催	

番号 103

女性への暴力をなくす運動期間における啓発活動の継続

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・期間にあわせ、センター前でパープルリボンキャンペーンを実施した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・複合施設の利点を活かし、若年世代にもデートDVなどの啓発も促すことができた。	
継続的課題や改善点	・引き続き、多世代に対して女性への暴力をなくすことを啓発していく必要がある。配偶者だけでなく、交際相手から受けるデートDVも増加傾向にあるため、若い世代から啓発をしていく必要がある。	
平成29年度 予定事業	・男女共同参画フォーラム開催時に啓発展示など実施する。 ・女性への暴力をなくす運動期間に限らず、男女共同参画週間に実施したパネルの内容にもDVについてを含め、啓発した。	

番号 104

暴力に関する意識調査

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・市民意識調査は平成26年に実施。次回平成31年の実施を予定している。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・評価なし	

継続的課題や改善点	・市民意識調査の実施とは別に、若年世代（学生）などに意識調査をかけてみるのも調査結果だけではなく、気づきのきっかけになるかと考えている。	
平成29年度 予定事業	・今年も「女性に対する暴力をなくす運動」期間にDV防止キャンペーンとしてパープルリボンキャンペーンを予定している。 簡単なアンケートなどを検討している。	

番号 105

千葉県DV担当者会議等への参加 DV関係機関対応マニュアルの庁内共用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・千葉県DV担当者会議, DV担当者研修等への出席 ・DV対応等, マニュアルや資料の情報共有	男女共同 参画セン ター こども福 祉課
具体的計画内容	・千葉県主催のDV担当者に向けた各種会議や研修に参加し, 各市の取り組みやケースワークを通じて職員のスキルアップを図った。	
継続的課題や改善点	・DVの対応には関係各所との連携や多様な情報が必要であるため, 市区町村を超えた連携が必要。	
平成29年度 予定事業	・H28年同様, 各会議・研修に出席予定。担当職員のスキルアップを図る。	

番号 106

若年層への予防啓発, 相談窓口の周知 市内中学校でのデートDV防止教育等の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・学校保険課による啓発の推進。市立中学校でのデートDVプログラムについて養護教諭研修会において情報提供を行うなどプログラムの実施を進めた。今年度は柏市市民公益活動促進基金の支援補助金事業から実施費用の補填があり, 中学校3校で実施。 ・市内中学校でのデートDV防止教育プログラムについては, 教護教諭研修会において情報提供を行うなど, プログラムの実施を薦めている。 平成28年度は, 柏市市民公益活動促進基金（協働推進課所管事業）の支援補助金事業から, 実施費用の補填があり, 中学校3校において実施。	男女共同 参画セン ター 学校保健 課
具体的計画内容	・男女共同参画の視点をもって事業を実施することができた。	
継続的課題や改善点	・デートDV防止教育プログラムも大切だが, それ以前に道徳教育の充実が必要。道徳の教科化に伴い, 啓発を推進していく。	
平成29年度 予定事業	・道徳の教科化に伴い, 啓発を推進していく。 ・支援補助金の活用により4～5校の実施を予定。 ・柏市の独自教材「生と愛と性」に同様のものが掲載されているため, 活用して啓発していく。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・こども福祉課，男女共同参画センター双方で連携を図り，調査・研究を進めた。	男女共同 参画セン ター こども福 祉課
具体的評価内容	・千葉県から配偶者暴力相談支援センターの設置の依頼を受け，こども福祉課と設置に関しての調査・研究を進めた。 - 千葉県からの配偶者暴力相談支援センター設置の依頼を受け，協働推進課と設置に関しての調査・研究を進めた。	
継続的課題や改善点	・近隣他市の動向も見ながら，設置の必要性を見極めていく。	
平成29年度 予定事業	・平成28年度同様	

◎推進体制

◆男女共同参画推進体制の充実

- (1) 計画の推進体制の強化
- (2) 男女共同参画センターの運営
- (3) 計画の効果的な進行管理

① 計画の推進体制の強化

番号 108

男女共同参画推進庁内連絡会議・幹事会の整備・活用

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・人事異動等による柏市男女共同参画推進庁内連絡会議設置要領の一部を改正，および幹事会幹事会名簿等の改正を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・柏市男女共同参画推進庁内連絡会議名簿および幹事会の名簿の整備および関係各所への配架を行った。	
継続的課題や改善 点	・年度初めに組織改変・人事異動を反映した名簿を作成・配架することで，各委員会委員間の周知と連携を図る必要がある。	
平成29年度 予定事業	・引き続き，年度初めに組織改変・人事異動を反映した柏市男女共同参画推進庁内連絡会議名簿および幹事会の名簿の整備・配架を行い，各委員会の充実と連携を図る	

番号 109

男女共同参画推進審議会の充実

各分野および公募委員などからなる男女共同参画推進審議会を充実し，さまざまな視点を反映させながら，本計画の推進を図ります。

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・審議会は年3回実施。第三次柏市男女共同参画推進計画の推進（なかでも企業表彰など）について重点的に協議。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・「柏市働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰」について，見直しに向け，今後の進め方についての重点的に検討した。	
継続的課題や改善 点	・平成29年度は企業表彰の方法を少しかえて実施予定であり，引き続き検討していく。	
平成29年度 予定事業	・新たなかたちでの企業表彰の実施に向け，まずは企業の意識調査・アンケートを実施予定。	

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善 点	庁内関係各課の連携や全庁的に本計画を推進していくための働きかけが必要。	
平成29年度 予定事業	平成29年度から、男女共同参画室から協働推進課に組織変更予定。男女共同参画推進強化を図る。	

② 男女共同参画センターの運営

		担当課
平成28年度 実施事業内容	- 平成28年5月14日に文化・交流複合施設【パレット柏】内に男女共同参画センター開設。複合施設の中の利点を活かし、オープニングセレモニーからその他館内イベントの際などには、PRを兼ねて掲示や啓発を一緒に行った。 - 毎年、アミューゼ柏で開催していた男女共同参画シンポジウムを男女共同参画フォーラムと改称し、センターのある同館内で開催。アクセス利便も向上した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・センターの開設初年度は認知度向上に努めることが出来た。施設が駅からすぐの立地であり、複合施設を利用する多様な年齢層の方たちの目に触れる機会が多くなったことが認知度や啓発の効果につながっている。	
継続的課題や改善 点	・センターの認知度が上がってきていることで、センターで実施している相談事業の件数が増加傾向にある。開所年数を重ねていくにつれ継続的に状況把握をしていく必要があると考える。	
平成29年度 予定事業	・開所2年目で、男女共同参画室から協働推進課に組織変更を実施。組織力の強化を図り、センターの運営を行う。	

③ 計画の効果的な進行管理

番号 112

苦情処理機関の設置に関する調査・研究

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・広報公聴課など関係機関や近隣各市からの情報収集を行った。	男女共同 参画セン ター
具柏の評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善 点	・相談窓口は各課で多様な相談窓口を設置しているが総合的な苦情等意見の受け皿は広報公聴課が行っている。新たに男女共同参画に特化した苦情処理機関の設置には設置の効果をふまえた調査等が不足している。	
平成29年度 予定事業	・継続的な情報収集や調査を行う	

施策番号 113

推進状況の把握および年次報告の公表

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・柏市男女共同参画推進計画（最終年度）の実績報告をとりまとめ、公表をした。	男女共同 参画セン ター
具柏の評価内容	・第三次柏市男女共同参画推進計画の策定と平行し将来的な課題も含めた本計画の指標に対する達成度の検証を行った。	
継続的課題や改善 点	・平成28年度からスタートする第三次柏市男女共同参画推進計画について課題指標と達成度を市民にわかりやすく示しながら進捗管理を行っていく。	
平成29年度 予定事業	・平成29年7月中旬までに各課施策の前年度実績報告の照会を実施、11月に実績報告書のたたき台を作成し審議会で報告を行い、平成30年2月に完成・公表のスケジュールで作成予定。	

施策番号 114

評価方法の検討・整備

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	男女共同 参画セン ター
具柏の評価内容	・評価なし	

継続的課題や改善点	・施策の効果・向上が数値的に表せないものに対する評価方法が課題	
平成29年度 予定事業	・第3次柏市男女共同参画推進計画の初回実績報告書のとりまとめとなるので、内容や評価方法を審議会と検討しながら進めていく。	

◆市内の男女共同参画推進体制の推進

(4) 男女共同参画推進市内連絡会議の充実

(5) 市職員の意識の向上

① 男女共同参画推進市内連絡会議の充実

番号 115

男女共同参画推進市内連絡会議の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・市内連絡会議の実施および人事課と共催し、全ての部長及び所属長を対象としたイクボス研修を実施した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・研修では、イクボスの実践に関するだけでなく、イクボスが提唱されるようになった背景にある、少子高齢化の問題や男女共同参画との関わりについても理解を深める機会となった。	
継続的課題や改善点	・部下の仕事と家庭の両立に配慮し、自らも率先して仕事と私生活を楽しむことができる上司が増えることによって男女共同参画社会の推進とあわせ、ワーク・ライフバランスの啓発にもつながるため、引き続き啓発していく必要がある。	
平成29年度 予定事業	・11月7日に合同で、男女共同参画推進審議会委員と男女共同参画推進市内連絡会議委員の市内研修会を実施予定。講師は男女共同参画推進審議会会長の大村氏に依頼予定。	

② 市職員の意識の向上

施策番号 116

男女共同参画に関する職員研修の充実

		担当課
平成28年度 実施事業内容	・男女共同参画等に関する研修（新任主事対象） ・ハラスメント等に関する研修（新任所属長対象） ・次世代育成支援対策推進法に関する研修（新規採用職員対象） ・産前休暇取得予定者説明会（年5回開催、対象職員及びその配偶者対象）	人事課
具体的評価内容	各種研修において、男女共同に関する意識醸成の機会を創出した。	
継続的課題や改善点	特定事業主行動計画（第2次前期計画）に基づき、産前休暇の取得予定者等にとどまらず、職員全般を対象とした説明会等が実施できないか検討する必要がある。	

平成29年度 予定事業	・各種研修の継続実施 ・若手職員に向けたキャリアデザイン研修の実施	
----------------	--	--

③ 性別にとらわれない職員の採用・配置

施策番号 117 性別にとらわれない職員の採用		担当課
平成28年度 実施事業内容	・職員の採用（平成29年4月1日付け）114人 男性 42人 女性 72人（保育士・保健師等専門職を含む）	人事課
具体的評価内容	性別にとらわれることなく、職員の採用を行った。	
継続的課題や改善点	引き続き、性別とは関係なく、能力や人物を重視した職員の採用を行っていく。	
平成29年度 予定事業	性別にとらわれない職員の採用	

施策番号 118 女性職員の積極的な職務配置		担当課
平成28年度 実施事業内容	・女性職員の積極的な職務配置	人事課
具体的評価内容	女性職員の計画的な育成を図るため、管理職に求められる業務経験や能力開発の機会が確保されることを意図した人事配置い、性別にとらわれることのない職員の配置を行った。	
継続的課題や改善点	引き続き、性別とは関係なく、能力や人物を重視した職員の配置を行っていく。	
平成29年度 予定事業	・性別にとらわれない職員の配置	

④ 関係機関との連携

施策番号 119 国・県・近隣市町村・近隣の大学・市民・市民団体・NPO・企業等との連携		担当課
平成28年度 実施事業内容	・内閣府や県主催、東葛飾地区の各ネットワーク会議や情報交換の場に参加し、情報共有や連携を図った	男女共同 参画セ ンター

具体的計画内容	・各会に出席し情報交換をすることで、各市の取り組みや共通課題を参考にすることができた。	
継続的課題や改善点	・男女共同参画の視点は広く、当センターが直接的に連携を図ることも大切だが、庁内各課がそれぞれ男女共同参画の視点をもって関わりのある組織（自治会や市民団体、企業など）と連携をすることが不可欠だと考える。庁内の啓発が不可欠である。	
平成29年度 予定事業	・内閣府や県主催のネットワーク会議や情報交換の場に参加し、連携を図る他、麗澤大学と連携して学生の男女共同参画の調査・研究発表への協力をおこなう。	

⑤ 男女共同参画条例に関する情報収集

施策番号 120 男女共同参画条例に関する調査・研究		担当課
平成28年度 実施事業内容	・未実施	男女共同 参画セ ンター
具体的計画内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	・継続的に男女共同参画条例を制定している他市のモデルケースを参考に、条例制定を目的とするのではなく、男女共同参画推進計画の3年ごとの見直しの参考にする。	
平成29年度 予定事業	・継続的に男女共同参画条例を制定している他市のモデルケースを調査・研究していく。	